

# 履修要項2015

醫療健康科學

# 1年間の主なスケジュール

日程		カテゴリ		行事
3月	30(月)・31(火)	履修		履修要項・学生証裏面シール配付
4月	3(金)～7(火)	履修		履修登録申込期間 (KONECO で8日午前3時まで申込可)
	10(金)～17(金)	履修		履修訂正・抽選結果確認期間 (KONECO で18日午前3時まで訂正可)
	11(土)		授業	前期授業開始
	23(木)～25(土) 正午	履修		履修エラー訂正期間 (訂正者)
	29(水)		授業	休日授業日 (昭和の日)
	30(木)		休業	全学休業 (4月29日振替)
5月	1(金)		休業	全学休業 (5月4日振替)
	2(土)		休業	全学休業 (9月21日振替)
	4(月)		授業	休日授業日 (みどりの日)
6月	1(月)～20(土)		授業	学生による授業アンケート (前期)
7月	24(金)		授業	前期授業最終日
	25(土)・27(月)～31(金)		試験	前期科目定期試験
8月	4(火)		試験	追試験願受付締切
	8(土)～18(火)		休業	全学休業期間
	17(月)～22(土)		試験	前期科目追試験
	17(月)～22(土)		授業	集中授業科目実施期間
	19(水)		成績	前期科目成績発表・成績調査願受付 (8月19～21・24～28日正午締切)
	27(木)		成績	前期科目追試験成績発表・成績調査願受付 (8月28日正午締切)
9月	14(月)～22(火)	履修		後期履修登録・訂正期間
	16(水)		授業	後期授業開始
	19(土)		その他	9月卒業式
	21(月)		その他	転部・転科試験願書受付 (フレBへの移籍除く・9月26日正午締切)
	21(月)・22(火)		授業	休日授業日 (敬老の日・国民の休日)
	28(月)～30(水)	履修		履修エラー訂正期間 (後期科目・訂正者)
10月	12(月)		授業	休日授業日 (体育の日)
	15(木)		休業	開校記念日 (全学休業)
	18(日)		その他	転部・転科試験
	29(木)		休業	全学休業 (10月12日振替)
	30(金)～11月1(日)		休業	オータムフェスティバル (大学祭・含む準備日) (全学休業)
11月	3(火)		授業	休日授業日 (文化の日)
	9(月)～28(土)		授業	学生による授業アンケート (後期)
	23(月)		授業	休日授業日 (勤労感謝の日)
12月	25(金)～1月5(火)		休業	全学休業期間 (9月22日・11月3日・11月23日振替休業日含む)
1月	9(土)		授業	後期授業最終日
	12(火)～14(木)		試験	後期・通年科目定期試験 (集中試験)
	18(月)～22(金)・25(月)		試験	後期・通年科目定期試験 (25日は土曜日振替)
	27(水)		試験	追試験願受付締切
2月	9(火)・10(水)・12(金)・13(土)・15(月)・16(火)		試験	後期・通年科目追試験 (16日は木曜日振替)
	12(金)		成績	後期・通年科目成績発表・成績調査願受付 (2月12・13・15～20日正午締切)
	19(金)		成績	後期・通年科目追試験成績発表・成績調査願受付 (2月20日正午締切)
3月	10(木)・11(金)		その他	転部・転科試験 (フレBへ) 願書受付
	16(水)		その他	転部・転科試験 (フレBへ)
	23(水)・24(木)		その他	卒業式
	30(水)・31(木)	履修		2016年度履修要項・学生証裏面シール配付

## 履修要項の見方

履修要項は、前半は主に「履修・授業・試験・成績」について、後半は主に「教育課程（開設科目）」について説明する2部構成となっています。

### 第1章

履修	受講する科目の登録方法や履修の仕組みについて説明しています。
授業	授業を受ける際に知っておくべきことについて説明しています。
試験	試験の種類や試験の受け方について説明しています。
成績	履修した科目の成績評価について説明しています。
留学	留学に関する基本的な情報を掲載しています。
学籍	大学に登録されている籍の取り扱いについて説明しています。
事務取扱いについて	窓口対応や証明書の発行について説明しています。

### 第2章

教育課程の編成について	開設科目にはどのような種類があるのか、単位制度や卒業するための条件について説明しています。
開設科目	所属する学部学科で開設している科目の入学年度別の一覧と、科目ごとの履修上の注意点を掲載しています。掲載内容は毎年変更される可能性があるため、履修の際は必ず目を通す必要があります。
資格講座	所属する学部学科で受講できる資格講座について説明しています。
学修支援	学修相談や支援について掲載しています。
キャリア形成	大学院進学や就職に関する情報を掲載しています。
その他	その他お知らせ等を掲載しています。

毎年3月末に、履修要項を教務部の窓口で在学生全員に配布しています。履修科目を決める際に必要となる条件について掲載されているため、履修登録を行う前に一通り内容を確認してください。また、履修要項と併せて、KONECO上で閲覧できる「シラバス」、「授業時間表」の内容を確認してください。

# 目次

学部長挨拶		1
教育研究上の目的・学位授与の方針（ディプロマポリシー）・教育課程の編成方針（カリキュラムポリシー）		2
第1章 履修・授業・試験・成績について		3
I 履修・授業		5
履修	1. 履修科目の決定方法	5
	2. Web 履修登録システム（KONECO）	7
	3. 履修登録（抽選登録・履修登録）	8
	4. 履修確認・履修訂正	10
	5. 後期履修	12
	6. 他学部履修	12
	7. 再履修	13
	8. シラバスの閲覧	13
授業	1. 授業期間	15
	2. 休日授業日及び全学休業日	15
	3. 課題授業	15
	4. 補講	16
	5. 授業時間	16
	6. 授業の欠席	16
	7. 代講	17
	8. 休講	17
	9. 震災及びその他の災害・事故に伴う授業休講措置	17
	10. 教場変更・教場貸出	17
	11. 大学からの掲示・連絡	18
	12. YeStudy（e-learning システム）	18
	13. アンケートシステム	18
II 試験・成績		19
試験	1. 試験について	19
	2. 定期試験	19
	3. 授業内試験	20
	4. 追試験	20
	5. 追試験受験対象となる欠席理由	20
	6. 受験心得	21
	7. 試験時間	21
	8. 試験実施規程	22
	9. 不正受験行為者処分規程	23
成績	1. 成績評価	24
	2. GPA 制度	24
	3. 成績発表	24
	4. 成績に関する相談・調査	25
	5. 保証人への成績表送付	25
	6. 進級基準	25
	7. 進級規程に伴う警告と勧告	26
	8. 在学条件	26
	9. 原級者	26
	10. 駒澤大学進級規程	27
III 留学		28
留学		28
IV 学籍		29
学籍	1. 修業年限と在学年数	29
	2. 休学	29

		3. 復学	30
		4. 退学	30
		5. 除籍	30
		6. 懲戒	30
		7. 転部・転科・転専攻・転コース	30
		8. 再入学	31
		9. 編入学	31
		10. 学生氏名・保証人	31
		11. 学生・保証人住所変更	31
		12. 学生番号	32
	V 事務取扱いについて		33
	事務取扱い	1. 窓口受付時間	33
		2. 届書・願書の受付	33
		3. 証明書発行	34
		4. 個人情報の保護方針	35
第2章	教育課程（開設科目）について		37
	I 教育課程の編成		39
	教育課程の特徴と履修上の注意		39
	授業科目の区分と教育目標		40
	単位	1. 単位制度	41
		2. 授業科目の単位数	41
		3. 単位の認定	41
		4. 履修単位の区分（必修・選択必修・選択科目）	41
		5. 卒業必要単位における修得単位算定の流れ	41
		6. 卒業に必要な単位数	42
		7. 年間履修制限単位数	42
		8. 卒業および学位記の授与	43
		9. 9月卒業・卒業必要単位修得に伴う後期休学（半期履修）について	43
		10. 1年次履修科目の決定順序	44
	II 開設科目		45
	開設科目一覧の見方		45
	全学共通科目		46
	宗教教育科目	1. 履修上の注意	46
		2. 開設科目一覧	46
	教養教育科目	1. 履修上の注意	47
		2. 開設科目一覧	48
		(1) 平成26（2014）年度以降入学生	48
		(2) 平成23（2011）～25（2013）年度入学生	50
		(3) 平成22（2010）年度以前入学生	51
		3. 履修不可対象科目	52
		4. 廃講科目	52
	外国語科目	1. 履修上の注意	53
		2. 開設科目一覧	53
		(1) 平成26（2014）年度以降入学生	53
		(2) 平成25（2013）年度以前入学生	54
		読替科目対象表	54
		3. 履修不可対象科目	55
		4. 廃講科目	55
	保健体育科目	1. 履修上の注意	56
		2. 開設科目一覧	56



専門教育科目	1. コース制	57
	2. 履修上の注意	57
	【全入学年度（全学生）対象】	57
	【平成26（2014）年度以降入学生】	58
	【平成23（2011）～25（2013）年度入学生】	59
	【平成22（2010）年度以前入学生】	60
	3. 読替科目対象表	61
	4. 開設科目一覧	62
	平成26（2014）年度以降入学生	A. 【診療技術科学コース】 62 B. 【画像技術科学コース】 64
	平成23（2011）～25（2013）年度入学生	A. 【診療技術科学コース】 66 B. 【画像技術科学コース】 68
	平成22（2010）年度以前入学生	A. 【診療技術科学コース】 70 B. 【画像技術科学コース】 72
	4. 履修不可対象科目	74
	5. 廃講科目	74
	6. 診療放射線技師国家試験受験資格について	74
随意科目	1. 履修上の注意 75 2. 開設科目一覧 75	
「日本語」・「日本事情」科目	1. 履修上の注意 75 2. 開設科目一覧 75	
Ⅲ 資格講座	76	
	1. 受講可能な資格 76 2. 資格講座の登録 76	
Ⅳ 学修支援	77	
	学業不振者への勧告 77	
Ⅴ キャリア形成	78	
	大学院進学 78	
Ⅵ その他	79	
	専任教員紹介・研究室 79	
事務室・掲示板案内図		
大学構内図		

## 学部長挨拶

医療健康科学部に入学された皆さんは今、これからどのような世界が展開されて行くのかを期待といささかの不安とをもって考えている事と思います。

言うまでも無く本学科は主として診療放射線技師として医療の現場で貢献できる資質の育成を目的としています。しかしながら本学科が意図するものは従来の技師教育の知識、技能をそのままレベルアップする所ではありません。ITと総称されるコンピュータのハードウェアとソフトウェア、インターネットなどのネットワークに関する技能科学の革新はアナログを主体とする診療放射線の従来技術をデジタル診療情報科学と言っても良いほどに変貌させています。それはまた診療目標の更なる高度化の要請に応えるため、ますます微細にまた精密に進歩し続けているのです。デジタル画像情報の医学的な解析を含めて、このような質的転換が成されつつある領域の、現在と行く先を見通して進化を把握し、リードし得る専門的資質の育成が本学科の目標です。そこで本学科の教育課程では高度の専門性を培うため、3年次（平成22〈2010〉年度以前入学生は2年次）から履修コース制を導入し、目標レベルにアプローチし易い学習システムとしています。到達点の専門性は本学独自の高度なものです。獲得された資質は皆さんの視野を拡大し、各自に将来性に満ちた診療放射線の世界を提供してくれるはずですよ。

技術科学の急展開によって、製品や方法論の技術寿命はより短命化が促進されて行くでしょう。従って技術者は常に新技術に対応できる意志と能力を持続させて行く必要があります。このことに必要な資質は基礎力以外にはありません。関係の少なく見える領域の技能知識が皆さんを支えることにもなるのです。基礎的な科目を大切に、また個々の科目の関連性、高度な技術の基盤となっている技術思想を理解するようにしてください。教育課程はその様な観点を考慮し、基礎からその展開まで積み上げて行けるように工夫されています。

医療にたずさわる事の意味を自問しつつ、ひとつひとつ階段を上ってください。そのたびに新しい視界がひらけます。教員の願いはそれぞれの目標に最短距離で到達する事であり、教員の仕事はそれをお手伝いすることです。

## 教育研究上の目的・学位授与の方針（ディプロマポリシー）

### ・教育課程の編成方針（カリキュラムポリシー）

※以下に記載されている教育課程の詳細（卒業に必要な単位数・科目数・科目名等）は、入学年度により異なる場合があります。履修要項第2章教育課程（開設科目について）を必ず確認してください。

## 医療健康科学部 診療放射線技術科学科

### ◆教育研究上の目的ならびに学位授与の方針

診療放射線技術科学科は診療放射線技師を養成する学科であり、医用放射線分野の高度な知識を基礎として医療技術の進歩に寄与する意志と能力を有し、医療人としての豊かな人間性を身につけた人材の育成を目的とする。それは、診療放射線技師を目指す者としての診療画像および医用放射線科学領域における確かな基礎学力と専門知識・技術を修得していることとともに、医療人としての強い責任感、医療技術の進歩に寄与する志し、自ら考え行動する力を有していること、さらに、宗教科目、教養科目、外国語科目の履修により、人と宗教の関わり、心身の健康に対する正しい理解、およびコミュニケーション能力を合わせて備えていることである。

#### 判断基準

- ・宗教の教えに対する理解と寛容な態度を修得していること。
  - ・豊かな人間性と幅広い視野、外国語の確かな運用能力、コミュニケーション能力、心身の健康に対する正しい理解を備えていること。
  - ・診療放射線技師を目指すものとしての、診療画像および医用放射線科学領域における確かな基礎学力と専門知識・技術を習得していること。
  - ・医療人としての強い責任感と能力、医療技術の進歩に寄与する強い志、自ら考え行動する力を有していること。
- 以上に述べた事項を達成するために必要な科目を134単位以上修得していること。

### ◆教育課程の編成方針

診療放射線技術科学科は2コース制の採用により、単に診療放射線技師資格取得のみにとどまらず、診療画像および医用放射線科学領域における豊かな基礎力に支えられた先進的な専門知識・技術を備え、自ら考え行動できる医療人を、講義、演習、実験、実習、総合研究と多様な授業形態をとおして育成する。同時に、教養科目として、宗教学、人文、社会科学、外国語科目等を幅広く履修することにより、医療人としての豊かな人間性、コミュニケーション能力を身につけた人材を育成することを目的とする。

#### 実施項目

- ・初年次に、専門分野の基礎となる数学、物理、化学、情報処理等の基礎科目に加え、少人数・ゼミ形式で行われる「科学基礎論」を配置する。
- ・診療放射線技師資格取得のため、診療放射線技師学校養成所指定規則に基づいて基礎分野、専門基礎分野、専門分野の科目を専門科目として配置する。
- ・多様化する診療放射線科学分野の学問領域に対応するため、2コース制を採用し、より各コースの専門性に特化した専門科目を体系的に配置し、先進性の高い教育内容を実現する。
- ・講義、演習、実験、実習、総合研究と多様な授業形態をとおして、基礎学力、応用力、問題解決能力を備えた医療人を育成する。
- ・専門科目として「医療宗教学」、「医療経済学」、「臨床医療人間学Ⅰ・Ⅱ」を配置し、幅広い視野をもった医療人を育成する。
- ・教養科目として、宗教、人文・社会科学、外国語科目等を幅広く履修することにより、医療人としての豊かな人間性、コミュニケーション能力を身につけた人材を育成する。
- ・卒業必要単位134単位中、104単位を専門教育科目とする。



## 第1章

履修・授業・試験・成績について



## I 履修・授業

## 履修

## 1. 履修科目の決定方法

※詳細日程は、表紙裏「1年間の主なスケジュール」にて確認してください。

2月中旬	卒業までに不足している単位数を把握する。	
	成績発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KONECO で発表されます。成績表は印刷・保管しましょう。</li> <li>・単位集計表の不足単位数欄にて、どの科目分野が何単位不足しているかを確認します。</li> </ul>
3月下旬	履修登録方法と、履修すべき科目を調べる。	
	履修要項配付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務部窓口で学生証を提示し、履修要項等を受け取ります。</li> <li>・表紙裏「1年間の主なスケジュール」と「第1章 I 履修・授業 2. Web 履修登録システム (KONECO)」を参照し、履修登録方法を調べます。</li> <li>・所属学科・専攻 (入学年度) のページを確認し、不足単位数に該当する分野科目を調べます。「年間履修制限単位数」を考慮した履修計画を立てましょう。</li> <li>・各開設科目一覧にある「履修上の注意事項」を確認してください。</li> </ul>
前期授業開始前	各科目の開講曜日時限とシラバスを調べる。	
	資料入手・履修計画	<p><a href="http://jikanwari.komazawa-u.ac.jp/">http://jikanwari.komazawa-u.ac.jp/</a></p>
	授業時間表 PDF 公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月初旬に、上記サイトから所属学科・専攻の授業時間表をダウンロードします。</li> <li>・「課程各講座」「外国語再履修」「他学部履修」の授業時間表も必要に応じて入手してください。</li> <li>・科目によっては、複数の曜日・時限に同一名称の科目が開講している場合があります。自分が履修可能な曜日・時限を調べましょう。</li> </ul>
	KONECO シラバス確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバスは、4月初旬から KONECO で公開します。「授業スケジュール」「成績評価の方法」等の、履修を決める際の重要項目を必ず確認しましょう。</li> </ul>
	成績表・履修要項・授業時間表・シラバスを利用して、履修登録申込予定の科目をリストアップする。	
	抽選を考慮した履修計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「受講予約科目 (◎予)」「抽選科目 (◎抽)」と記された科目において、履修希望者が定員上限を超えた場合は、履修者を抽選にて決定します。希望科目が落選する可能性も考慮して、複数候補をリストアップしておきましょう。</li> <li>・「◎抽」は、2年次生以上の必修再履修クラス「仏教と人間」「外国語」「健康・スポーツ実習」が対象です。複数の曜日時限で開講されますので、科目毎に申込希望順位を決めておきましょう。</li> </ul>
	学生番号指定科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生番号指定のある科目は、授業時間表に該当番号が記載されている授業を履修します。</li> <li>・再履修の場合は、学生番号指定外クラスの履修が可能です。ただし、GMS 学部の場合は、学部内で再履修クラスの抽選登録を行う科目があります。</li> </ul>
	前期授業開始前の履修登録申込期間中に、KONECO 履修登録を完了させる。	
	履修登録申込・履修確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず期限内に今年度履修予定の全科目 (後期科目含む) を履修登録してください。</li> <li>・一部の必修科目はあらかじめ履修登録されています。</li> <li>・「◎抽」については、KONECO 抽選登録申込画面より申し込んでください。</li> </ul>
	履修登録申込期間終了後の、履修確認期間に登録状況を確認する。	
4月中旬	KONECO 履修確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「◎予」「◎抽」の抽選結果や、履修エラーの有無を確認してください。</li> <li>・単位修得状況欄にて「修得見込単位数」「不足見込単位数」を確認し、自身の計画通りに履修登録がされているかを確認してください。</li> </ul>
	前期授業開始前から始まる履修訂正期間中に、必要に応じて科目の追加・取消を行う。	
	KONECO 履修訂正申込	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修エラーが表示されていた場合は、必ず期間内に訂正を行ってください。</li> <li>・定員に空きのある「◎予」「◎抽」科目は、随時先着順で追加登録ができます。</li> <li>・登録済みの「◎抽」科目や、一部の必修科目は取消できません。</li> <li>・履修訂正期間は、前期授業開始に前後して設けられていますが、可能な限り各科目の初回授業に間に合うよう訂正をしてください。</li> </ul>
前期授業開始後	履修エラー訂正期間	
	履修エラー訂正期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修訂正内容を反映した時間割と単位修得状況を KONECO で確認し、印刷・保管してください。</li> <li>・履修エラーが表示されている場合には、必ず教務部窓口へ申し出てください。</li> <li>・履修エラーに由来しない科目の追加・取消は原則認められません。</li> </ul>
	今年度履修科目決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修エラーが無くなった時点で、履修手続完了です。履修科目のシラバスは印刷しておきましょう。</li> <li>・最終確定した今年度の履修科目は、担当者名や曜日・時限等を手帳等に控えておきましょう。</li> </ul>

後期授業開始前	8月中旬	履修計画	前期科目の成績を確認する。
		前期科目 成績発表	・前期科目の成績が KONECO で発表されます。 ・単位集計表の不足単位数欄にて、どの科目分野が何単位不足しているかを確認します。
後期授業開始後	9月中旬	後期履修訂正申込	後期授業開始前から始まる後期履修登録期間中に、必要に応じて後期科目の追加・取消を行う。  KONECO 履修訂正申込  ・開講期が「前期・通年・集中・シーズン」の科目は追加・取消はできません。 ・後期科目は、残りの年間履修制限単位数の範囲内で追加・取消が可能です。 ・定員に空きのある「◎予」「◎抽」後期科目は、随時先着順で追加登録ができます。 ・後期科目であっても、登録済みの「◎抽」及び一部の必修科目は取消ができません。 ・一部の後期科目について、指定前期科目が未修得の場合、履修が自動取消されることがありますので確認しましょう。 ・履修訂正期間は、後期授業開始に前後して設けられていますが、可能な限り各後期科目の初回授業に間に合うよう訂正をしてください。
	9月下旬	履修エラー訂正期間	後期履修訂正における最終確認を行う。  履修エラー訂正期間  ・後期履修訂正内容を反映した時間割と単位修得状況を KONECO で確認し、印刷・保管してください。 ・履修エラーが表示されている場合には、必ず教務部窓口に申し出てください。 ・履修エラーに由来しない科目の追加・取消は原則認められません。

### ●留意事項

- ・4月第1週目の授業開始に先だって、履修登録申込期間が始まります。1年間の履修計画を組立て、必ず申請をして下さい。
- ・4月第1週目の授業は「履修のお試し期間」ではありません。履修訂正期間と重なっているため科目によっては訂正変更も可能ですが、第1週目の授業については、必修科目に限らず通常通り授業が行われることがあり、担当教員からのオリエンテーションや受講制限に関する説明など、受講するうえで重要な内容が多く含まれます。授業開始前にシラバス等をよく読み、履修意思のある科目は必ず履修登録申込期間に申請し、第1週目の授業から出席するようにしましょう。
- ・卒業必要単位を充足していたとしても、各年次に1科目以上（経営学部のみ2単位以上）は履修登録しなければなりません。
- ・3年次までに卒業必要単位数を満たした場合であっても、4年次に履修登録を行う必要があります。
- ・卒業必要単位数は、あくまで卒業に必要な最低単位数のことであり、4年間で修得できる単位数の上限を意味しているわけではありません。たとえば、4年次の残り不足単位数が4単位だけだったとしても、4単位分だけ履修登録するのではなく、単位を落としてしまった場合も考慮して、少し多めに履修登録をして授業を受けましょう（※4年次必修科目を除く）。
- ・『履修要項』、『授業時間表』、『シラバス』の記載内容に訂正が発生した場合は、訂正掲示がされますので、確認してください。
- ・過去に単位を修得した同一名称の科目を再度履修することはできません。

## 2. Web 履修登録システム (KONECO)

履修登録は、“KONECO (コネコ)” という Web システム上で行います。

KONECO では、履修登録の他に「個人時間割の確認」「シラバス閲覧」「成績評価の確認」「教職課程・資格講座の申請」「健康診断結果の照会」「大学からのお知らせや休講・補講・代講・教場変更等の掲示配信」「試験掲示」「学生住所・電話番号の変更」「コース登録申請 (該当学部のみ)」「教養特別履修の申請 (該当学部のみ)」といった機能があります。

### ● KONECO にログインする

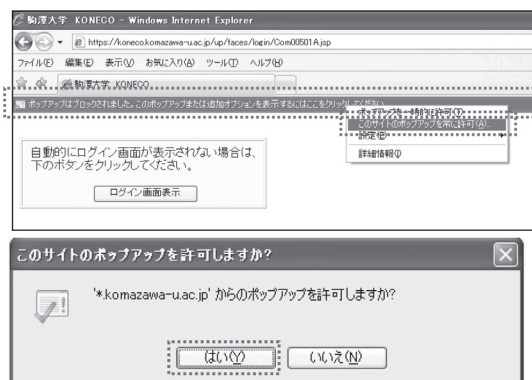
- ・直接 URL を入力する。  
https://koneco.komazawa-u.ac.jp/
- ・ログイン画面で、KOMAnet ID とパスワードを入力する。
- ※ ID やパスワードを失念した場合は、総合情報センター (4号館2階事務室) へ問い合わせる。



### ● KONECO 利用上の注意点

- ・毎日午前3時から6時の間はメンテナンス時間のため停止しています。
- ・ログイン後、30分以上画面を放置すると自動的にログアウトされます。
- ・ログイン画面に掲示されているお知らせは、全学生に配信している掲示内容です。
- ・PC サイトにおいては、1学生1接続となっております。複数端末からの接続を試みた場合、後から接続した画面はエラー画面で表示されます。
- ・KONECO の利用を終了する場合は、必ず「ログアウト」ボタンで終了してください。ウィンドウの「×」ボタンで画面消去すると、一定時間 KONECO にログインできなくなります。
- ・使用できるブラウザ  
Internet Explorer ver.9.0~11.0    Firefox ver.3~26    Google Chrome    Safari
- ・推奨 OS  
Windows Vista、Windows 7、Windows 8
- ・ポップアップブロックについて (Internet Explorer の場合)  
KONECO では、ポップアップウィンドウで開く画面があります。ポップアップ表示の許可がされていない場合は、許可設定を行ってください。  
※ Google や Yahoo! 等が提供するツールバーには、下記とは別のポップアップブロックが機能として備わっている場合があります。KONECO 利用に不具合が生じる場合は、それらのポップアップブロックを無効にしてください。

- ①ポップアップ画面が表示される際に、ポップアップブロックした旨のメッセージが画面上部に表示されるので、これをクリック。
- ②「このサイトのポップアップを常に許可」をクリック。
- ③ダイアログ「はい」をクリックで完了。







KONECO 各機能の多くには、画面上部にヘルプボタンが配置されています。操作中に不明点があれば、ポップアップで表示されるヘルプ画面を参照してください。

### 3. 履修登録（抽選登録・履修登録）

履修登録の方法は、①抽選登録、②履修登録の2つの方法により行います。それぞれの登録方法について次に説明します。いずれの登録期間も、4月前期授業開始に先だって開始しますので、注意してください。

#### (1) 抽選登録（「◎抽」）

前期授業開始日前に、再クラス（仏教と人間、健康・スポーツ実習、外国語必修または選択必修科目）の抽選を行います。抽選科目は履修要項の開設科目一覧の注意事項欄に《再クラス◎抽》と表示しています。

##### ①抽選申込画面

- ・ トップページ【履修】から【抽選申込】をクリックします。
- ・ 卒業必要単位数を参照したうえで、「科目名称」のプルダウンメニューから履修したい科目名を選択してください。

科目分野	示必	人文	社会	自然	Life	小計	分野	外1	外2	保健	専必	専選	卒補	広域	合計	随意	履修
卒業必要単位数	4	<---	16	----		16		8	4	2	64	12	8	6	124		
取得単位数								4			20				24		
不足単位数	4	<---	16	----		16		4	4	2	44	12	8	6	100		

##### ②抽選科目の検索画面

- ・ 選択した科目の抽選申し込みができる曜日・時限が表示されます。
- ・ 抽選登録したい科目の登録申込希望順位を選択し、最後に「申込」ボタンをクリックします。
- ・ 抽選申込期間中であれば、何度でも申請をしながらすることができます。

※必修科目が開講されている曜日・時限は、予め科目が登録されているため、抽選科目やその他の科目をエントリーすることはできません。

※同曜日・時限に他に履修可能な科目がある場合は、「表示」ボタンをクリックして詳細を確認できます。

※抽選は年次等に関係なく、機械的にランダムで当落選が決まります。

開講期	曜日	時限	履修コード	教員氏名	登録申込希望	申込なし
前期	火5	◎表示	自 300601		第1 第2 第3 第4 第5 第6 第7 第8 第9 第10	◎
前期	木1	◎表示	自 301201		自 254701 / 英語1Bα の履修が確定しています。	
前期	金1	◎表示	自 301301		第1 第2 第3 第4 第5 第6 第7 第8 第9 第10	◎
前期	土3	◎表示	自 301401		第1 第2 第3 第4 第5 第6 第7 第8 第9 第10	◎
前期	土3	◎表示	自 301511		第1 第2 第3 第4 第5 第6 第7 第8 第9 第10	◎
前期	土4	◎表示	自 301501		ロックスされています。詳細は教務部窓口にお問い合わせてください。	

申込ボタンを押下しないと登録が完了しません。

## ③抽選科目の当落選確認

- ・結果発表日になったら、トップページ【履修】から【抽選申込状況一覧】をクリックし、抽選結果の確認をしてください。また、当選科目は履修訂正申込の時間割画面上にも表示されています。

※抽選科目は、当選した科目の取消をすることはできませんので注意してください。

※定員に空きのある科目がある場合は、履修訂正申込から先着順で申込が可能になります（ただし、取消不可）。

抽選申込状況一覧							
<p>確認</p> <p>申込科目の当落選を確認してください。            当選した科目の取消はできません。            ※ 当選した科目は、履修登録申込画面で予登録されます。            なお、当選した科目の取消は一切認められません。            ※ 抽選科目のうち、定員まで空きのある授業は、履修登録申込期間・履修訂正期間に先着順で登録することができます。</p>							
結果公開期間 9月13日(土)～9月20日(土)							
学生番号	学生氏名	年次	所属学部学科	外国語			
Bk0018	駒澤 六郎 (コマザワ シロウ)	2年	仏教学部 神学科	英語 中国語			
抽選結果	希望	開講期	曜日 時限	科目区分	履修コード / 科目名称	教員氏名	単位数
当選	第1	連年	火3	再履修	196201 / 健康・スポーツ実習		2
当選	第1	前期	火5	再履修	300601 / 中国語IA		1
落選	第2	連年	水4	再履修	196301 / 健康・スポーツ実習		2
落選	第3	連年	木3	再履修	196311 / 健康・スポーツ実習		2
落選	第2	前期	土3	再履修	301401 / 中国語IA		1
落選	第3	前期	土3	再履修	301511 / 中国語IA		1

## (2) 履修登録 (「◎予」及び「通常」科目)

前期授業開始日前に、履修登録申込期間が始まります。開講科目は、一部の科目を除き履修者数の上限を設けており、これを受講予約科目と呼びます。履修要項第2章の開設科目一覧受講予約科目欄に「◎予」と表示されています。上限を超えた申請が発生した場合は、抽選によって履修者を決定します。抽選科目「◎抽」と異なる点は、当選した科目であっても履修訂正申込期間に取消ができる点です。

また、受講予約科目欄が空欄となっている科目は、通常科目と呼びます。履修者数の上限がないため、KONECO 上の抽選は発生しませんが、担当教員による受講制限を行っている場合もあるため、開設科目一覧の注意事項欄やシラバスを確認のうえ、前期授業開始日前の履修登録期間に同時に申請をしてください。

## ①履修登録画面

- ・トップページ【履修】の項目より【履修登録申込】をクリックします。
- ・前期・後期別になった時間割表形式の画面が表示されます。各曜日・時限にある「選択」ボタンをクリックすると、自分が履修できる科目と最新の混雑状況等が表示されます。
- ・申請中の抽選科目（◎抽）も画面に表示されます。当落選が確定していませんので、受講予約科目（◎予）等と同一曜日時限であっても、履修登録申請が可能です。受講予約科目（◎予）の当落選結果は、履修登録申込期間終了後の、履修訂正期間に確認ができます。

※科目名の下に表示されている「申込状況」から、混雑状況が分かります。

- …定員に余裕があります。
- △ …定員まで残り僅かです。
- 抽選…定員を超過しました。  
受講予約科目は抽選となります。
- 満員…現在定員を充足しています。

※定員に空きのある受講予約科目は、履修訂正申込期間に先着順で申込をすることができます。

※抽選により当選した受講予約科目は、履修訂正申込期間に取消をすることができます。

前期	後期	日表示				
月	火	水	木	金	土	
1	選択 【4】000401 坐禅 神研-坐禅堂	選択	【1】254701 英語IB 正-204	選択 【4】070901 心理学概論 1-303 削除	選択	
2	選択	【4】000901 神思想概論	選択 【4】000321 仏教漢文入門 2研-209 削除	選択	選択	
3	選択 【2】196201 健康・スポーツ実習 体育館 (抽選科目-当選)	選択 【2】196301 健康・スポーツ実習 体育館 (抽選科目-当選)	【2】196311 健康・スポーツ実習 体育館 削除	選択	【1】301401 中国語IA 9-175 削除 【1】301511 中国語IA 9-403 削除	
4	【4】002801 仏典・神学概論 9-256	【2】196301 健康・スポーツ実習 体育館 削除	【2】196311 健康・スポーツ実習 体育館 削除 【2】19001 経済学A 8-360 (受講予約科目-申込中) 削除	【4】006811 宗教学概論 8-151	ロックされています。詳細は教務部窓口にお問合わせください。2単位、1科係長	

※画面最下部の申込ボタンを押下しないと登録が完了しません。

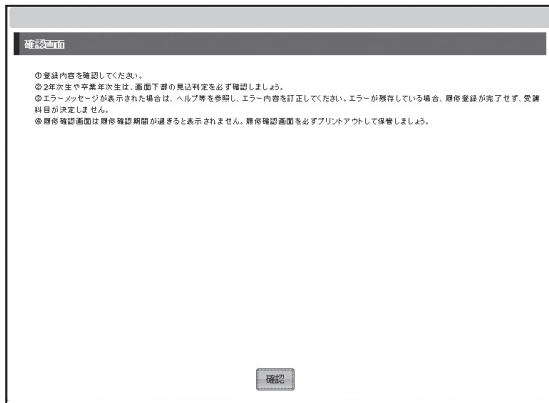
## 4. 履修確認・履修訂正

登録した科目の修得見込単位数の集計は、履修訂正期間から確認できるようになります。

履修訂正期間は履修登録申込期間までに当選または申込をした科目、履修確認期間は履修訂正申込期間までに当選または申込をした科目の単位集計を表示しています。

### ①履修確認画面

- ・トップページ【履修】の項目より【履修確認】をクリックすると、以下の画面が表示されます。注意書きを一読のうえ「確認」ボタンを押してください。



- ・自動削除科目一覧に表示された科目は、履修登録がされません。抽選が発生し落選した受講予約科目(◎予)などが表示されます。
- ・登録した科目に誤りがないか、また、履修登録した結果の単位修得状況について、確認してください。
- ・登録内容に誤りがない場合、画面を印刷して保管してください。

※「修得見込単位数」の欄を見ると、今年履修する科目の合計単位数が科目分野別にわかります。

※「不足見込単位数」は、今年履修する科目の単位を全て修得できた場合の、卒業までの残り見込単位数です。

※上記「見込単位数」は、履修訂正期間の変更状況に応じてリアルタイムに再計算されるものではありません。履修訂正期間にて変更した場合は、必ず履修エラー訂正期間にて「見込単位数」を確認してください。

**履修確認**

履修を確認したら、必ずプリントアウトして保管してください。

確認

確認期間 4月16日(水)~4月28日(月)

学生番号	学生氏名	年次	所属学部学科	外国語
BK0018	駒澤 太郎 (コマザワ タロウ)	2年	仏教学部 神学科	英語 中国語

自動削除科目一覧(カレンダーから自動で削除された科目の一覧を表示します。) 非表示

自動で削除された科目はありません。

時間割

	履修制限単位数	履修予定単位数【エラーを含む】 ※( )は履修制限外	履修可能単位数
申込単位数状況	年間 54	24 (0)	30

曜日	開講期	必修	科目分野	抽選	A・B	履修コード / 科目名称	教員氏名	単位数	教場	エラー
月5	前期	必修	外国語科目			自 248201 / 英語Ⅱ Aa		1	9-408	
月5	後期	必修	外国語科目			自 249801 / 英語Ⅱ Ab		1	9-408	
火1	通年	必修	専門教育科目 必修			自 000401 / 坐禅Ⅰ		4	禅研-坐禅室	
火3	通年	必修	保健体育科目 必修	抽		自 196201 / 健康・スポーツ実習		2	体育館	
火4	通年	必修	専門教育科目 必修			自 002801 / 仏典・禅語解説		4	8-256	
火5	前期	必修	外国語科目	抽		自 300601 / 中国語Ⅰ Aa		1	9-172	
水2	通年	必修	専門教育科目 必修			自 000901 / 禅思想概説		4		
水3	前期	選択	保健体育科目 選択			自 197502 / 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)		1	体育館	
木1	前期	必修	外国語科目			自 254701 / 英語Ⅱ Ba		1	玉-204	
木1	後期	必修	外国語科目			自 256301 / 英語Ⅱ Bb		1	玉-204	
金4	通年	必修	専門教育科目 必修			自 006811 / 宗教学概論		4	8-151	

単位修得状況(後期・通年科目成績認定)

科目分野	宗必	人文	社会	自然	Life	小計	分野	外1	外2	保健	専必	専選	卒論	広域	合計	留意	資格
卒業必要単位数	4	<---	16	----	>	16		8	4	2	64	12	8	6	124		
修得単位数								4			20				24		
不足単位数	4	<---	16	----	>	16		4	4	2	44	12	8	6	100		
修得見込単位数								4	1	2	16				24		
不足見込単位数	4	<---	16	----	>	16		4	1	2	16	3	28	12	8	5	76

※単位修得状況は、卒業論文(2年次)の修得もあわせて表示(卒業論文(2年次)の修得は卒業論文(2年次)の修得と見做す)  
 ※卒業必要単位数には、履修科目と履修制限科目をふくみません  
 ※卒業単位は、「卒業論文」が必修の場合に表示されます

見込判定(2年次・卒業年次) 3月進級 可能

9月卒業申請

フレックスA・Bでの修得

印刷

②履修訂正期間でエラーがある場合

- ・エラーが発生している場合は、履修訂正が必要です。エラー内容については、「エラー内容の確認」ボタンをクリックし、エラー内容を確認してください。

※エラーがある科目は、赤色の網掛けになります。

履修確認									
エラー									
履修登録内容にエラーがあります。内容を確認してください。詳細はヘルプを確認してください。 <a href="#">エラー内容の確認</a>									
確認期間 4月16日(水)～4月29日(水) 検証中につき「9月12日(金)」まで延長									
学生番号	学生氏名	年次	所属学部学科		外国語				
BK0018	駒澤 太郎 (コマザワ タロウ)	2年	仏教学部 洋学科		英語 中国語				
自動削除科目一覧 (カレンダーから自動で削除された科目の一覧を表示します。) <a href="#">非表示</a>									
自動で削除された科目はありません。									
時間割									
履修制限単位数		履修予定単位数【エラーを含む】 ※( )は履修制限外		履修可能単位数					
申込単位数状況		年間 54		24 (0)		30			
曜日 時限	開講 期	必・選	科目分野	抽選 A・B	履修コード / 科目名称	教員氏名	単位 数	教場	エラー
月5	前期	必修	外国語科目		248201 / 英語IAa		1	9-408	
月5	後期	必修	外国語科目		249801 / 英語IAb		1	9-408	
火1	連年	必修	専門教育科目 必修		000401 / 坐禅		4	禅研-坐禅 堂	
火3	連年	必修	保健体育科目 必修	抽	196201 / 健康・スポーツ実習		2	体育館	91
火4	連年	必修	専門教育科目 必修		002801 / 仏典・禅経解説		4	8-286	
火5	前期	必修	外国語科目	抽	300601 / 中国語IAa		1	9-172	
水2	連年	必修	専門教育科目 必修		000901 / 禅思想概説		4		
水3	前期	選択	保健体育科目 選択		197502 / 生涯スポーツ実習 (前期・基礎)		1	体育館	
木1	前期	必修	外国語科目		254701 / 英語IBa		1	玉-204	
木1	後期	必修	外国語科目		256301 / 英語IBb		1	玉-204	
金4	連年	必修	専門教育科目 必修		006811 / 宗教学概論		4	8-151	

※主なエラーメッセージ

エラー コード	エラーメッセージ	エラー内容等
91	先着オーバー	定員を超過したため、登録できません。
6・61・62	同一曜日・時限に2科目以上履修 (セメスター科目主曜日と重複)	該当科目の訂正をしてください。
21	同一科目を2科目以上履修	
79	同時履修不可	
78	同一開講期の履修不可	履修前に修得する必要がある科目があります。履修条件を確認してください。
42	演習担当者エラー	演習科目と同一担当者・同一曜日時限開講の科目のみ履修可能です。該当する科目を登録してください。
75	特定者履修科目エラー	指定された学生以外は履修できません。
77	キャンパス間移動時間エラー	玉川・駒沢キャンパス間の移動時間が不足しているため、履修登録できません。 ※キャンパス間の移動時間は約60分
72	介護等体験エラー	登録していない講座の科目のため、履修できません。
76	履修条件エラー	履修前提条件となる科目または単位数が不足しています。履修要項の開設科目一覧などにて履修条件を確認してください。
35	単位不足エラー	
38	前提条件科目不足エラー	
39	指定科目不足エラー	
51	履修制限単位エラー	年間履修制限を超えて登録しています。
31	他学部履修オーバー	他学部履修科目の履修制限（既修得単位を含む）を超えて登録しています。
36	昼夜制限オーバー（専門教育）	専門教育科目の分野の昼夜開講科目制限（既修得単位含む）を超えて登録しています。
40	昼夜制限オーバー（教養教育）	教養教育科目の分野の昼夜開講科目制限（既修得単位含む）を超えて登録しています。
44	保健体育オーバー	保健体育科目の履修制限単位数を超えて登録しています。(法学部のみ)
	ロックされています。	指定科目の履修予定がある等により、履修科目の登録はできません。詳細は窓口で確認してください。

### ③履修訂正申込画面

・トップページ【履修】の項目より【履修訂正申込】をクリックすると、以下の画面が表示されます。

履修訂正申込

1 授業の選択 ▶ 2 エラー確認 ▶ 3 完了

**STEP 1**

カレンダー内の選択ボタンをクリックするか、科目一括選択ボタンをクリックして、履修したい科目を選択してください。詳細なヘルプを確認してください。  
履修登録期間内は、随時、申込内容の変更が可能です。

訂正期間 4月16日(水)～4月22日(火)

学生番号	学生氏名	年次	所属学部学科	外国語
BK0018	駒野 太郎 (コマザワ タロウ)	2年	仏教学部 禅学科	英語 中国語

単位修得状況(後期・通年科目成績認定) 非表示

科目分野	宗心	人文	社会	自然	Life	小計	分野	外1	外2	保健	専必	専選	卒論	応域	合計	随意	減格
卒業必要単位数	4	<---	16	----	>>>	16		8	4	2	64	12	8	6	124		
修得単位数								4			20				24		
不足単位数	4	<---	16	----	>>>	16		4	4	2	44	12	8	6	100		

※Lifeはラフデザイン分野を表します。  
※卒業必要単位には、随時科目と課程課履修科目をふくみません  
※卒論欄は、「卒業論文」が必修の場合に表示されます

自動削除科目一覧(カレンダーから自動で削除された科目の一覧を表示します。) 非表示

曜日	開講	必・選	科目分野	履修コード / 科目名称	教員氏名	単位数	事由
水3	前期	選択	保健体育科目 選択	197502 / 生涯スポーツ実習(前期:必修)		1	落選(定員オーバー)

※エラーにより自動削除された科目が表示されます。抽選が発生し落選した受講予約科目(◎予)などが表示されます。

	月	火	水	木	金	土
1	選択	◎【4】000401 坐禅Ⅰ 田 禅研一坐禅室	選択	◎【1】256301 英語Ⅱ Bb 田 五-204	選択	選択
2	選択	選択	◎【4】000901 禅思想概説 田	選択	選択	選択
3	選択	選択	◎【2】196201 健康スポーツ実習 田 体育館 (抽選科目-当選) 削除	選択	選択	選択
4	選択	◎【4】002801 仏典-禅解脱説 田 B-256	選択	選択	◎【4】006811 宗教学概論 田 B-151	選択
5	◎【1】249801 英語Ⅱ Ab 田 O-408	選択	選択	選択	選択	選択
6	選択	選択	選択	選択	選択	
7	選択					選択

※各曜日・時限にある「選択」ボタンをクリックすると、混雑状況、最新混雑状況を確認することができます。

○…定員に余裕があります。  
先着順で登録を受付けます。  
△…定員まで残り僅かです。  
満員…現在定員を充足しています。

## 5. 後期履修

9月14日(月)～22日(火)は、後期履修期間です。この期間では、年間履修制限単位数の残り単位数の範囲内(前期不合格科目含む)で、後期開講科目を追加履修及び取消しをすることができます。なお、先着順での登録となります。当選した抽選科目の取消はできませんので注意してください。

## 6. 他学部履修 ※医療健康科学部を除く。

所属学科以外の学部・学科が、他学部履修科目として公開した専門教育科目の中から所属学科が履修を認めた授業科目を履修することができます。他学部履修科目は3年次から履修できます。履修する際は、「他学部履修科目授業時間表(PDF)」と該当科目のシラバスをよく確認してください。

履修方法の詳細については、第2章「他学部履修科目」の頁を確認してください。



## 7. 再履修

再履修とは、前年度もしくは前期に履修登録し、単位を修得できなかった科目を再度履修することをいいます。単位を修得できなかった場合、以下の点に注意してください。

- (1) 再履修する科目の単位は、各年次の年間履修制限単位数に含まれます。
- (2) 後期履修で再履修を申込みする際は、年間履修制限単位数の範囲内に限ります。
- (3) 再履修する科目の担当教員が異なる場合でも、科目名が同じであれば同一科目の再履修と見なします。
- (4) 再履修専用のクラス（再クラス）を開講している科目があります。再クラスがある科目は、授業時間表やシラバスの付記欄に《再クラス》もしくは《再クラス◎抽》と明記しています。対象科目は以下のとおりです。

科目名	備考
仏教と人間	抽選登録（◎抽）が必要です。
健康・スポーツ実習（必修の学部のみ）	
必修・選択必修の外国語科目（「外国語再履修科目授業時間表 PDF」参照）	一部を除き、抽選登録（◎抽）が必要です。
坐禅Ⅰ（仏教学部のみ）	
Written Communication I・II Critical Reading Introduction to Writing （グローバル・メディア・スタディーズ学部のみ）	

- (5) 初修年次に、学生番号指定されていた科目を再履修する際は、学生番号に関係なく履修することができます。
- (6) 1年次に玉川キャンパスで開講している「仏教と人間」「健康・スポーツ実習」の再クラスは、駒沢キャンパスでは開講されません（医療健康科学部を除く）。1年次に単位を修得できなかった場合、入学年度に関わらず玉川キャンパスで再履修をすることになります（フレックスB除く）。なお、昼休みをはさむ2～3時限を除き、キャンパス間の連続した時限の履修登録は許可していない点に注意してください。
- (7) 履修年次に上限の決められた科目があります。自分の年次が上限を超えた場合は、それらの科目を再履修することはできません。開設科目一覧をよく確認しましょう。

## 8. シラバスの閲覧

シラバスとは、各科目の授業計画についてまとめられたものです。授業概要、授業スケジュール、成績評価の方法、教科書等について詳細に掲載されています。

シラバスは、KONECO から閲覧します。時間割表画面や、履修登録等の画面上に表示された科目名をクリックして閲覧できます。この他に、科目名や担当教員名を直接入力して検索する機能もあります。

### ①時間割表示形式画面からシラバスを閲覧する

月	火	水	木	金	土
1 選択 ④000401 坐禅Ⅰ 神奈川-坐禅室	選択 ④000401 坐禅Ⅰ 神奈川-坐禅室	選択 ④000901 禅思想概論Ⅰ 2時-209	①1254701 英語ⅡA 五-204	④070901 心理学概論Ⅰ 1-303	選択
2 選択	選択	④000901 禅思想概論Ⅰ 2時-209	④00032 山梨大学 2時-209	選択	選択
3 選択	②196201 健康・スポーツ実習Ⅰ 体育理 抽選科目-当選	②170901 日本語文化概論Ⅰ 体育理 抽選科目-当選	②196311 健康・スポーツ実習Ⅰ 体育理	①1301401 外国語IAa 9-175	①1301511 外国語IAa 9-403
4 選択	④002801 仏典・禅理解説Ⅰ 9-256	②196301 健康・スポーツ実習Ⅰ 体育理	②19901 経済学Ⅱ 9-151	④006811 宗教学概論Ⅰ 9-151	①1301401 外国語IAa 9-175 ①1301511 外国語IAa 9-403

※時間割表示形式の画面で、科目名をクリックするとその科目のシラバスが閲覧できます。

※各曜日・時限の「選択」ボタンをクリックすると、自分の所属学科で履修可能な科目名が表示されます。

## ②シラバス検索画面からシラバスを閲覧する

指定した検索条件に一致するシラバス一覧を表示します。  
※詳細を確認する場合は、該当するシラバスの「履修コード / 科目名称」をクリックしてください。

検索条件を指定する

検索範囲  履修  すべて

学種  学部授業  大学院授業

年度  年度

配当学部

配当学科

配当年次  1  2  3  4

配当科目 / 分野  /

履修コード

科目名称

担当教員氏名

開講時期  前期  後期  通年

開講曜日  月  火  水  木  金  土  日  特曜日  集中

開講時限  1  2  3  4  5  6  7  8  9

履修キャンパス  駒沢  玉川  深沢

キーワード

クリア 検索

※シラバス検索画面では、初期設定で「検索範囲」が「履修」に指定されており、自分の所属学科で履修可能な科目だけが検索される設定になっています。

※「検索範囲」を「すべて」に変更した場合、他学部の時間割をすべて閲覧できるようになります。ただし、自分の所属学科では履修できない科目も検索されるようになってしまいます。たとえば自分の所属学科と同じ科目名があったとしても、必ずしもそれを履修できるとは限りませんので注意してください。

## ③シラバス照会画面

シラバス照会

PDF出力

履修コード/科目名称	000401 / 新入生セミナー	
開講年度・期	2014年 前期	開講曜日・時限
単位数	2	
付記		
主担当教員氏名(カナ)	駒澤 太郎(コマザワ タロウ)	
副担当教員氏名(カナ)		
授業概要	高度な専門に特化することになる大学においては、高等学校等におけるより広範囲に「自立的」で「主体的」な学習態度が要求されます。履修意欲をもって世界に向き合う中でテーマや課題を自ら探し出し、必要な資料や文献等の調査を行い、レポートや発表によって自分の考えを他者に的確に伝え、他者の意見に柔軟に耳を傾けること——習得が期待されます。これが自立型で主体的な学習の道筋です。本科目はこうした学習のための入り口であり、次の4点を共通の指針としています。 ①駒澤大学において、誇れる大学生としての自覚を養う。 ②自分の態度を「学習から学習」へと変化させる。 ③他者との交流を通して自己を磨く。 ④たえず流動化する社会のなかで自己を方向づけ、位置づける。	
到達目標(ねらい)	「自立的かつ主体的」な学習態度を身につけ、今後の大学生活を乗り切るものとするために、授業概要の4点を重要な柱とします。すべての新入生がこれからの4つの柱の意味を理解し、大学で学ぶことの意味について考えを深めることが本科目の目標です。	
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション
	第2回	大学で学ぶとは？
	第3回	演習1

※「PDF出力」ボタンをクリックすると、表示されているシラバスのPDFファイルをダウンロードすることができます。履修を決めた科目のシラバスはPDFファイルを保存しておくか、印刷しておきましょう。

## ④シラバス照会画面の用語説明

履修コード/科目名称	履修コード（科目の曜日・時限毎に付けられた固有番号）と科目名称
開講年度・期	科目の開講年度と開講期（通年・前期・後期）
開講曜日・時限	科目の開講している曜日・時限 ※週2回開講科目の曜日時限は、主曜日のみ表示されます。副曜日については、KONECO「履修登録画面」や授業時間表PDFで確認してください。
単位数	その科目を合格すると得られる単位数
付記	科目に関する補足情報
主担当教員氏名	その科目の代表教員（採点を行う教員）の氏名
副担当教員氏名	代表教員以外の教員氏名
授業概要	その科目で行われる授業の概要について
到達目標（ねらい）	その科目で修得する知識・技術等の到達目標について
授業スケジュール	各回の授業スケジュールについて。※スケジュールはシラバス作成時点の予定であるため、授業の進捗によって変更される可能性があります
準備学習	履修に際し、事前事後の学習に関する指示
履修上の留意点	履修する際の留意点や、受講方法に関する指示
成績評価の方法	成績評価の方法（試験やレポート等）や評価割合について
教科書/テキスト	授業で使用する教科書やテキストについて。書籍の場合は購入が必要となります
参考書	受講にあたり、参考にすべき図書等について
その他	その他、担当教員からの指示やメッセージ等
関連リンク	授業に関連したURL

# 授業

## 1. 授業期間

本学では学則の定めにより、1年間を前期・後期の2つの期間に分けて授業を実施しています。

期間については、①前期または後期のみ授業が行われる半期科目と、②前期・後期両方の期間を使って授業を実施する通年科目の2種類があります。

	期間	授業開始日	授業最終日	休業期間
前期	4月 1日～ 9月15日	4月11日	7月24日	夏季 8月 1日～ 9月15日
後期	9月16日～ 3月31日	9月16日	1月 9日	冬季12月29日～ 1月 4日

※休業期間を利用して、集中授業が開かれる科目があります。詳しくは、「開設科目一覧」を参照してください。

※授業最終日以降に、定期試験期間が設けられています。

## 2. 休日授業日 及び 全学休業日

各曜日の授業日数を調整するため、特定の祝日・休日等を授業日として設定しています。授業日に振り替えた休日は、他日程を全学休業日として、休日に振り替えています。

前期	休日授業日	振替全学休業日	後期	休日授業日	振替全学休業日
	4月29日(水) 昭和の日	4月30日(木)		9月21日(月) 敬老の日	5月 2日(土)
5月 4日(月) みどりの日	5月 1日(金)	9月22日(火) 国民の休日	12月25日(金)		
		10月12日(月) 体育の日	10月29日(木)		
		11月 3日(火) 文化の日	1月 5日(火)		
		11月23日(月) 勤労感謝の日	12月28日(月)		

その他、以下の日程は全学休業日と設定されているため、授業は実施されません。

全学休業日		
後期	10月15日(木) 開校記念日	10月30日(金)・31日(土) オータムフェスティバル(準備日含む)
		12月26日(土) 臨時休業

## 3. 課題授業

休日授業日を含む通常の授業とは別に、課題授業が前期および後期に実施されます。

各科目の課題授業の実施時期や方法については教員からの指示に従ってください。シラバスに記載されている場合もありますので注意してください。課題授業の方法は以下にあげるものがあります。

### ①駒澤大学 e-learning システム「YeStudy (イエスタデイ)」を利用

教員からの指示があります。利用方法については、「YeStudy 操作マニュアル」を参照してください。

### ②補講

平日の夜間時間帯や、土曜日の午後を中心に実施されます。実施日や教場については受講生に対し KONECO で配信されます。

複数の補講授業が同一時限に重なってしまった場合、必修科目を最優先し、科目担当教員に相談してください。

教員に対しては科目の重なりがあった際は学生から相談があることを伝えてあります。

### ③レポート提出

教員からレポート課題が出題されます。提出期限、体裁等は教員の指示に従ってください。

### ④C-Learning による課題提出

教員から指示があります。パソコンを利用してレポートを提出してください。このアプリの利用は、つぎのアドレスにログインが必要です。

<https://komazawa.c-learning.jp/s/> ※初期パスワードは生年月日の8ケタ(例: 18821015)です。

#### 4. 補講

各教員の授業の進行状況や休講等による不足分を調整するため、補講を実施することがあります。補講の情報はKONECOに配信されます。

開講期	実施期間	曜日・時限
前期	6月1日～前期授業最終日	平日：6・7時限、土曜日：4・5時限 ※他の時限で行われる場合もあります。
後期	11月1日～後期授業最終日	

#### 5. 授業時間

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
時間	9:00 ～ 10:30	10:40 ～ 12:10	13:00 ～ 14:30	14:40 ～ 16:10	16:20 ～ 17:50	18:00 ～ 19:30	19:40 ～ 21:10

※定期試験期間の時間帯については、「試験時間」の頁を参照してください。

#### 6. 授業の欠席

病気・ケガ・事故・冠婚葬祭など、やむを得ない理由により授業を欠席する場合、次表を参照のうえ、所定の方法により各自で授業の担当教員に届け出をしてください。ただし、欠席の取扱いについては、担当教員に確認してください。

次表に定めのない欠席理由については、所定届出用紙等はありません。欠席が証明できるもの（1週間以上の傷病であれば医師の診断書等）を各自で取得してください。不明な点については、教務部7～10番窓口へ問合せしてください。

	欠席事由	欠席として認められる期間	手続方法
に証明書類 届出	学校保健安全法施行規則第18条に規定された感染症に罹患し、医師により感染症に罹患したとの判断を受けた場合	学校保健安全法施行規則第19条に規定された期間	保健管理センターへ医療機関発行の証明書(※)を提出、確認印をもらった後、担当教員へ提示する。
	自然災害や事故により交通機関が運休し、通学が著しく困難であると認められる場合（通学に主に用いる交通機関が運休になり、代替の交通機関での通学が不可能であった場合）	該当する期間	公的機関または交通機関発行の証明書、ならびに代替手段のないことの説明書類を担当教員へ提示する。
学科所定用紙等により届出	本学の開講科目のうち、下記の学科が認める実習に参加する場合 文学部地理学科 「地域文化調査法A～G」・「地域文化演習A～E」・「地域環境調査法A～F」・「地域環境演習A～F」・「地域調査入門A～F」・「人文地理学実習」・「自然地理学実習」・「地形学実習」・「水文学実習」・「気候学実習」・「歴史地理学実習」・「GIS実習」・「計量地理学実習」・「図学実習」・「地質学A・B」 文学部歴史学科 「考古発掘実習」 文学部心理学科 「心理実践実習」 医療健康科学部 「画像検査技術学実習」・「核医学検査学実習」・「放射線治療技術学実習」	参加日数	学科又は担当教員の指示に従ってください。
	配偶者及び1・2親等の親族の死亡に伴い、葬儀、服喪その他の行事のために授業に出席できなかった場合	配偶者及び1親等の親族の場合（父母・子）は、死亡した日から起算して連続7日（休日含む） 2親等の親族の場合（祖父母・兄弟姉妹等）は、死亡した日から起算して連続3日（休日含む）	会葬礼状等を持参のうえ、教務部窓口⑦～⑩番窓口で相談してください。
	裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合 ①裁判員候補者として、裁判員選任手続のために裁判所に行った場合 ②裁判員として選任され、裁判（公判、評議、評決等）に参加した場合	①1日 ②参加日数	裁判所からの通知書等を持参のうえ、教務部窓口⑦～⑩番窓口で相談してください。
	本学の教職課程、資格講座に関わる以下の実習に参加する場合 ①教育実習 ②介護等体験 ③社会教育実習 ④博物館実習 ⑤社会福祉士・精神保健福祉士実習	受入先の指定する期間	教務部②番窓口にて所定の欠席届を受取り、受入先・指定期間の記載された公文書(写)を添付のうえ、担当教員に申し出てください。 ※公文書が発行されない場合は、事務担当部署から配付される書類(写)
上記以外の理由で特に学部長が認めた場合		上記の事由には当たらないが、学部の決定により認められた場合教務部⑦～⑩番窓口で相談してください。	

### ●欠席に関する注意点

- ・欠席期間が長期にわたる場合は、休学について教務部11番窓口（学籍係03-3418-9121）へお問い合わせください。
- ・病気・怪我等で、1か月以上の入院治療を要する場合は、保健管理センター（禅研究館1階 03-3418-9635）へ連絡してください。

※インフルエンザ、麻疹等の法令で定められた感染症に罹患した場合、保健管理センターに連絡の上、感染の危険がなくなるまで自宅療養してください。治癒後、「学校における感染症」の治癒証明書（大学所定様式）を医師に記入してもらい、提出してください。

詳細は、保健管理センター[[http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/h\\_kansen/](http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/h_kansen/)]を参照してください。

- 教職課程、博物館学講座、社会教育主事講座、社会福祉士の実習のため、他の授業を欠席をする場合、所定の欠席届を用意していますので、教務部2番窓口へ申し出てください。

## 7. 代講

傷病・退職等の理由のため、年度の途中で担当教員が変更することを代講といいます。

代講となった授業については、KONECOに掲載します。

## 8. 休講

大学や授業担当教員にやむを得ない事情が発生した場合に、授業を休講することがあります。休講について連絡があり次第、KONECOに掲載します。

教場黒板への板書での休講連絡は原則として行いません。授業開始後30分を経過しても連絡がない場合は、教務部9番窓口へ申し出て、指示を受けてください。

## 9. 震災及びその他の災害・事故に伴う授業休講措置

（休講措置を検討する状態）

- ・東急田園都市線が運休もしくは運転を見合わせている場合
- ・台風、低気圧等により、東京23区内及びその隣接地域に「暴風警報」「暴風雪警報」「大雨警報」「大雪警報」が発表された場合

上記の場合、休講するか否かを大学が検討し、決定し次第、以下の手段でお知らせします。緊急時はアクセスが集中しますので、以下の優先順位で確認してください。

- ①パソコンからのKONECOサイト利用
- ②携帯電話からのKONECOサイト利用
- ③パソコンからの大学ホームページ利用
- ④携帯電話からの大学ホームページ利用
- ⑤大学テレフォンサービス（03-3418-9028）

## 10. 教場変更・教場貸出

### ●教場変更

教場が変更となる場合、KONECOに掲載します。継続して変更になる場合と、当日のみ変更になる場合があります。

### ●教場貸出

ゼミ活動で教場を使用する場合は、担当教員の承諾を得た上で、教務部窓口へ「教場使用願」を提出してください。サークル等で教場を使用する場合は、学生部へ申し出てください。




## 11. 大学からの掲示・連絡

大学からの掲示・連絡は、KONECO と掲示板に掲示されます。掲示板の場所と種類については、表紙裏の「事務室・掲示板配置図」を参照してください。

## 12. YeStudy (e-learning システム)

本学の e-learning システム「YeStudy (イエスタデイ)」を利用した授業科目があります。担当教員が YeStudy のコースに科目を開設している場合のみ利用できますので、担当教員の指示に従って登録してください。また、利用方法・操作方法については、「操作マニュアル」を参照または1号館3階事務室の「e コンシェル」がサポートを行っています。

### ● YeStudy へのアクセス

<ul style="list-style-type: none"><li>・ PC からアクセス <a href="https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/">https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/</a></li><li>・ モバイルからアクセス <a href="http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/">http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/</a></li></ul> <p>YeStudy e コンシェル <a href="mailto:econ@komazawa-u.ac.jp">econ@komazawa-u.ac.jp</a> 場 所： 1号館3階 時 間： 月～金 (9:00～12:30、13:30～17:00) ※休日・全学休業期間・大学行事等で授業が実施されない日は対応していません。</p>	<p>QR コード</p> 
---	---

なお、学内のパソコン利用には、KOMAnet ユーザIDが必要です。

パスワードの再発行は、4号館2階事務室にて対応しています。

詳細は総合情報センターのホームページ、または『総合情報センター利用ガイド』で確認してください。

## 13. アンケートシステム

本学では、FD (Faculty Development) の一環として、各教員の授業改善を目的に「学生による授業アンケート」を前期と後期の年2回実施しています。アンケート実施期間の前に、実施に関する連絡を行います。

なお、アンケートはアンケートシステム“C-Learning (シーラーニング)”を利用して実施します。

システムを利用するために、事前に利用登録を行っておいてください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・ スマートフォン、携帯電話、PC からアクセス <a href="https://komazawa.c-learning.jp/s/">https://komazawa.c-learning.jp/s/</a></li><li>・ C-Learning の利用登録については、<a href="http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/jugyo/clearning/">http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/jugyo/clearning/</a> を参照してください。</li></ul> <p>※問い合わせ先 (教務部 教育支援係)</p>	<p>QR コード</p> 
--	---

## Ⅱ 試験・成績

### 試験

#### 1. 試験について

受講する科目の多くは、授業に出席し、試験を受けることで評価されます。

試験はいくつかの種類がありますので、自分の受講している授業がどの試験を行うのかを KONECO や掲示板等で必ず確認してください。

また、履修する科目がどのような試験を行うかについては、シラバスを参照してください。

#### ●試験の種類

定期試験（筆記）	前期科目定期試験期間、後期・通年科目定期試験期間に行われる筆記試験。試験会場で60分間で行われる。
定期試験（レポート）	前期科目定期試験期間、後期・通年科目定期試験期間に行われるレポート試験。試験開始時間から30分以内に試験会場へ提出しなければならない。
追試験（筆記）	やむを得ない理由で定期試験を受験できなかった者のための筆記試験。
追試験（レポート）	やむを得ない理由で定期試験を受験できなかった者のためのレポート試験。
授業内試験	授業期間中に担当教員が任意で行う試験。筆記試験あるいはレポート試験等で行われる。定期試験や追試験と異なり、試験実施の告知は授業内だけで行われ、掲示がされない場合もあるので注意が必要。

※やむを得ない理由については、「5. 追試験受験対象となる欠席理由」を参照。

#### 2. 定期試験

##### ●定期試験の実施日程

前期科目	7月25日（土）、27日（月）～31日（金）	
後期科目と 通年科目	1月12日（火）～14日（木）	※専門教育科目集中試験
	1月18日（月）～22日（金）、25日（月）	※25日は土曜日の授業科目の試験を行います。

※専門教育科目集中試験とは、専門教育科目のうち、以下の条件のいずれかに該当する科目の試験を特別な日程で実施するものです。日程および、履修中の科目が該当しているかどうかは、試験掲示を確認してください。

- ・同一教員が同一科目名の授業を複数担当している科目
- ・履修人数が大人数である科目

##### ●定期試験の注意事項

- ・履修登録した科目のみ受験できます。従って、同一科目名、同一教員名であっても、履修登録していない開講期・曜日・時限の科目は、受験できません。
- ・定期試験はすべて駒沢キャンパスで実施します。
- ・筆記試験の代わりにレポートの提出を課せられた場合は、論題・学科・年次・学生番号・氏名を明記し、読み易く綴じて提出してください。なお、指定された曜日・時限に提出しなければなりません。
- ・試験時間割は履修登録している科目が開講している曜日・時限とし、試験日及び教場等については掲示で発表します。試験時間は通常の授業時間とは異なります。（「試験時間」の頁を参照）

### 3. 授業内試験

授業内試験とは、授業期間中に担当教員が任意で行う試験のことです。筆記試験あるいはレポート試験等で行われます。定期試験や追試験と異なり、試験実施の告知は授業内だけで行われ、掲示がされない場合もあるので注意が必要です。また、大人数授業の場合、普通の教場とは異なる教場で試験が行われる場合があります。

なお、試験掲示がされている科目については、掲示板・KONECO で閲覧することができます。

### 4. 追試験

追試験は、次項に掲載した理由により、定期試験（レポート提出を含む）を受けられなかった場合に、受験することができる試験です。

定期試験欠試者は教務部に相談のうえ、所定の「追試験受験願」に記入し、証明書を添付して下記期日までに教務部（8番窓口）の受験許可を得てください。

	追試受験願受付	追試験期間	備考
前期科目	8月4日（火）まで	8月17日（月）～22日（土）	
後期科目と 通年科目	1月27日（水）まで	2月9日（火）・10日（水）・12日（金） ・13日（土）・15日（月）	
		2月16日（火）	※16日は木曜日の授業科目の追試験を行います。

### 5. 追試験受験対象となる欠席理由

全ての書類において、該当日時等の記載があるもの。なお原本（コピー不可）に限る。

	欠席理由	提出する証明書・書類等
A	本人の病気・負傷	医師の診断書
B	忌引	3親等以内、会葬御礼等証明するもの
C	公共交通機関の遅延	当該機関で発行された遅延証明書
D	就職試験等	公共機関・会社等が発行する受験証明書、または試験の案内状か受験票の写し
E	勤務の都合	定職者に限る、勤務先の証明書
F	交通事故	交通事故証明書
G	天災その他の災害	被災を証明するもの
H	公式試合	公式試合参加を証明するもの
I	結婚式	招待状等証明するもの
J	ボランティア参加	参加証明書
K	インターンシップ参加	参加証明書または学生本人の参加を証明するもの
L	他大学での履修科目の試験が 本学の定期試験と重複した場合	
M	資格取得のための実習等	本学の資格課程講座に限る
N	その他公的な会議・式出席	案内状等証明するもの
O	その他	学部長が特別に認めた場合、教務部所定の許可願用紙と理由が明記されている書類、証明書等

※ただし、医師の診断を要しない程度の病気や寝坊による遅刻等は、やむを得ない理由とはみなさないの注意してください。

提出する証明書・書類等についての注意事項

※全ての書類において、該当日時等の記載があるもの、なお原本（コピー不可）に限る。

A. 本人の病気・負傷

試験当日の症状の記載がある医師の診断書に限る。

#### C. 公共交通機関の遅延

原則、試験当日の申請に限る。遅延証明書は通学経路で利用する交通機関で発行されたものに限る（但しインターネットでの発行は不可）。

#### H. 公式試合

大学の部活動等で選手として参加する場合に限る。

#### L. 他大学での履修科目の試験が本学の定期試験と重複した場合

履修証明書あるいは試験日時等の記載のあるものに限る。

#### M. 資格取得のための実習等

実習先、実習期間の記載のあるものに限る。

## 6. 受験心得

- 1 当該科目を履修登録していなければなりません。
- 2 指定された日時・試験場で受験しなければなりません。
- 3 試験中、学生証を机上に提示しなければなりません。ただし、仮受験票を以って学生証に代えることができます。
- 4 試験開始後30分以内に当該試験場に入室しなかった者は、受験できません。
- 5 試験終了までは試験場を退場できません。
- 6 学部・学科・年次・学生番号・氏名の記入はペンまたはボールペン書きとします。
- 7 答案または受験者名簿に記名の無い者の受験は無効と扱われます。
- 8 試験場において、受験者は試験監督員の指示に従わなければなりません。
- 9 試験場の秩序を乱した者、または試験実施の妨げになる行為をした者は、主任監督の判断により退場を命じられ、学則に基づき処分されます。
- 10 試験において下記のような不正受験行為が行われた場合は、「不正受験行為者処分規程」により処分されます。
  - a. 代人受験
  - b. 答案の交換
  - c. カンニングペーパー等の使用
  - d. 机、辞書、身体等への書き込み
  - e. 他人の答案の転写
  - f. 言動または携帯電話等による連絡
  - g. 許可の無い教科書、ノート、参考書等の参照
  - h. 参照が許可された教科書、ノート、参考書等の貸し借り
  - i. 答案の持ち出し
  - j. その他、上記行為に準ずる行為
- 11 追試験受験者は、受験許可証を持参しなければなりません。

## 7. 試験時間

〈定期試験・追試験〉

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
時間	9:30 ～ 10:30	11:00 ～ 12:00	13:00 ～ 14:00	14:40 ～ 15:40	16:20 ～ 17:20	18:10 ～ 19:10	19:40 ～ 20:40

※レポート提出は、開始後30分で受付を終了しますので遅れないよう注意してください。

## 8. 試験実施規程

### 試験実施規程

(昭和59年7月13日制定)

(目的)

第1条 この規程は、駒澤大学学則に規定する試験の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

(試験の実施責任)

第2条 試験は、授業科目を開設する教授会等の責任のもとに実施される。

(試験の種類及び実施の時期)

第3条 試験の種類は、次のとおりとする。

(1) 定期試験 履修した授業科目の単位修得の認定のために学期末の所定試験期間内に行う試験をいう。

(2) 追加試験 (以下「追試験」という。) 病気その他やむを得ない理由で定期試験を受けることができなかった者について、所定試験期間内に行う試験をいう。

(3) 授業内試験 第1号、第2号の試験とは別に平常の授業時間内に授業科目担当者が行う試験をいう。

2 定期試験及び追試験の実施時期については、行事予定表をもってこれを定める。ただし、授業内試験については、この限りではない。

(定期試験実施本部)

第4条 定期試験及び追試験の円滑な実施のため定期試験実施本部を設ける。

2 定期試験実施本部に必要な事項については、別に定める。

(試験の方法)

第5条 試験は、筆記、口述又は実技によって行う。ただし、授業科目担当者は、レポート提出をもってこれに代えることができる。

(試験時間)

第6条 試験時間は、原則として60分とする。

(受験資格)

第7条 定期試験を受験するためには、次の各号の条件を満たしていなければならない。

(1) 当該授業科目を履修していること。

(2) 授業料その他の学費を納入していること。

2 前項の条件を満たしているときであっても、当該授業科目について、授業時間数の3分の2以上に出席していない者については、当該授業科目の受験資格が認められないことがある。

3 追試験を受験するためには、当該授業科目の追試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。

(受験資格の喪失)

第8条 次の各号の一に該当するときは、当該授業科目の受験資格を失う。

(1) 学生証を携帯していないとき。

(2) 試験開始後30分以内に試験場に入室しなかったとき。

(3) 試験監督員の指示に従わないとき。

(4) 不正受験行為の事実が確認されたとき。

(受験心得)

第9条 試験を受ける者は、別に定める受験心得を遵守しなければならない。

(無効の答案及びレポート)

第10条 次の各号の一に該当する答案及びレポートは、無効とする。

(1) 受験資格を有しない者の答案及びレポート

(2) 不正受験行為により作成された答案及びレポート

(3) 氏名、学生番号が記載されていない答案及びレポート

(4) 指定された時間及び場所に提出されない答案及びレポート

(5) 所定用紙以外の用紙を用いた答案

(試験監督)

第11条 試験の監督は、当該授業科目担当者の責任においてこれを行う。ただし、必要あるときは、補助試験監督員を置くことができる。

2 試験監督員は、試験場内の秩序を維持し、試験を厳正かつ円滑に実施する任にあたる。

3 試験監督要領は、別にこれを定める。

(不正受験行為の扱い)

第12条 試験監督員は、試験実施中に学生が不正受験行為をしたときは、受験を停止させ、学生証、答案用紙並びに不正受験行為に使用した物品等を証拠品とし、当該学生を伴って教務部長 (又は教務課長) に報告するものとする。

2 教務部長 (又は教務課長) は、試験監督員及び当該学生より事情を聴取し、不正受験行為の事実確認を行う。

3 当該学生の不正受験行為の事実を確認したとき、教務部長は、当該授業科目担当者の意見を付し、証拠品を添えた報告書を学生部長に速やかに提出するものとする。

4 試験実施後、不正受験行為が発見されたときも、前項に準じてこれを取り扱うものとする。

(不正受験行為者の処分)

第13条 不正受験行為者の処分については、別に定める。

(事務所管)

第14条 試験実施にかかわる事務は、教務部の所管とする。

附 則

この規程は、平成21年10月30日から施行する。



## 9. 不正受験行為者処分規程

### 不正受験行為者処分規程

(昭和59年7月13日制定)

(目的)

第1条 この規程は、試験実施規程第12条及び第13条並びに法科大学院試験実施規程第12条及び第13条に基づき、定期試験及び追加試験における不正受験行為者の処分に関する必要事項について定めるものとする。

(決定及び通達)

第2条 不正受験行為者の処分決定は、学部教授会又は法科大学院研究科教授会の議を経て学長が行い、本人への通達は、学部長又は研究科長が行う。

(不正受験行為の内容)

第3条 不正受験行為の内容は、次のとおりとする。

- (1) 代人受験
- (2) 答案の交換
- (3) カンニングペーパー等の使用
- (4) 机、辞書、身体等への書込み
- (5) 他人の答案の転写
- (6) 言動又は携帯電話等による連絡
- (7) 許可のない教科書、ノート、参考書等の参照
- (8) 参照が許可された教科書、ノート、参考書等の貸し借り
- (9) 答案の持ち出し
- (10) その他、上記各号に準ずる行為

(処分の種類)

第4条 不正受験行為者の処分は、次のとおりとする。

- (1) 前条第2号から第10号の不正受験行為を行った者は、譴責処分とし、当該受験科目を無効とする。
- (2) 前条第1号の不正受験行為を行った者及び前条第2号から第10号の不正受験行為を再度行った者は、停学処分とし、当該期の定期試験及び追加試験期間の全受験科目を無効とする。
- (3) 前条第1号を含む不正受験行為を再度行った者及び前条第2号から第10号の不正受験行為を三度行った者は、退学処分とする。

(不正受験行為を助けた者の処分)

第5条 第3条に定める不正受験行為を助ける行為を行った者は、前条の各号に準じて処分する。

(事後発覚者の処置)

第6条 試験終了後に不正受験行為が発覚したときは、第4条により処分する。

(処分の起算日)

第7条 処分の起算日は、学長の決裁日とする。

(通知及び原簿記載)

第8条 処分の内容については、本人及び保証人に通知するとともに、学籍原簿に記載するものとする。

(公示)

第9条 処分の内容は、掲示により公表するものとする。

(停学者の指導)

第10条 停学処分中の者は、当該学部長又は研究科長の指導に従わなければならない。

(事務所管)

第11条 本規程の事務所管は次の通りとする。

- (1) 不正受験行為の事実確認に関しては教務部
- (2) 不正受験行為に対する処分手続きに関しては学生部

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

# 成績

## 1. 成績評価

履修科目の全授業日数のうち3分の2以上出席し、合格の成績評価を得た科目については単位を認定します。なお、追試験の成績評価は定期試験に準じます。

成績評価は下表の通りです。なお、素点に関する問い合わせについては応じられません。

### ●評価の記載

合格/不合格	合格				不合格		認定
素点	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点	59点～0点	評価なし	認定
評価	S	A	B	C	F	空欄	T
成績評価分布	履修者全体の5%程度	履修者全体の30%程度					

※成績評価分布対象外の科目もあります。

## 2. GPA 制度

GPA (Grade Point Average) とは、S・A・B・C・Fの各評価に対して、それぞれ4.0・3.0・2.0・1.0・0点のグレードポイントを付与し、これに各科目の単位数を掛け合わせ、その総計数を総履修単位数で割った値です。

不合格 (F)・学修放棄 (空欄) の科目のGPAの値は、0ポイントとして計算されますので、履修科目の登録を慎重に行う必要があります。不合格 (F)・学修放棄 (空欄) の科目を、翌年度以降に再履修し合格点を修得した場合、先の0ポイントは削除され合格点のポイントが加算されます。

GPAの値は、「成績証明書」および「成績・卒業見込証明書」に記載され、成績を参考とする選考基準等に使用されることがあります。本学では、平成18 (2006) 年度以降入学生より適用しています。

《GPAの算出方法について》

$$\text{GPA} = \frac{(\text{S 修得単位数} \times 4.0) + (\text{A 修得単位数} \times 3.0) + (\text{B 修得単位数} \times 2.0) + (\text{C 修得単位数} \times 1.0)}{\text{履修登録した科目の総単位数 (F・空欄は含むがTは含まない)}}$$

※再履修した科目の単位数は、履修登録した科目の総単位数には含まれません。

※Tは単位認定科目 (他大学で修得した単位を含む)。

※GPAの数値は、小数点第3位を四捨五入とする。

※卒業必要単位数に含まれない科目 (随意科目、教職課程・資格講座科目) は除外されます。

## 3. 成績発表

成績発表は Web (KONECO) にて行います。発表の日程は下記のとおりです。

種類	成績発表日
前期科目成績発表	平成27年8月19日 (水)
前期追試験科目成績発表 (集中授業含む)	平成27年8月27日 (木)
後期・通年科目成績発表	平成28年2月12日 (金)
後期・通年追試験科目成績発表 (生涯スポーツ演習Ⅱ含む)	平成28年2月19日 (金)

※その他の成績更新時期については KONECO [成績照会] 内のヘルプを参照してください。

## 4. 成績に関する調査

成績発表を確認し、以下のような場合は、所定の期間内に教務部窓口へ申し出てください。

電話による問い合わせには応じておりません。

- ①授業に出席し、受験した科目に評価が付いていない場合
- ②受験しなかった科目に評価が記載されている場合
- ③評価に対して、疑問点がある場合

### ●成績調査の申請期間

種類	対象者	申請期間
前期科目	前期終了科目履修者	成績発表日から8月28日（金）正午まで
後期・通年科目	後期・通年科目履修者	成績発表日から2月20日（土）正午まで

### ●注意事項

成績は上記期間内に申し出がない場合、了承されたものとして確定します。

必ず期間終了までに成績を確認してください。

## 5. 保証人への成績表送付

3月中旬以降に保証人住所に送付します。保証人住所に変更等がある場合は、必ず教務部11番窓口にて手続きしてください。

※前期終了の際は送付されません。学生本人には KONECO にて発表します。

## 6. 進級基準

学業奨励を目的として、3年次への進級に際し、進級基準を設けています。

### (1) 平成26（2014）年度以降の入学生の進級基準（グローバル・メディア・スタディーズ学部を除く）

（平成26（2014）年度以降の編入学・再入学生は、入学年度によって進級基準の適用が異なります。）

2年次終了時の成績	
進級	①卒業に必要な単位を30単位以上修得しており、 かつ ②外国語必修 I Aa および I Ab の2単位または I Ba および I Bb の2単位のどちらか※を修得している者 （日本語を必修としている留学生は、外国語必修科目で2単位以上を修得している者）
原級に留め置く	①卒業に必要な単位の修得が29単位以下の者、 または ②外国語必修 I Aa および I Ab の2単位および I Ba および I Bb の2単位が全て未修得の者 （日本語を必修としている留学生は、外国語必修科目の修得単位が1単位以下の者）
4年次終了時の成績	
原級に留め置く	在学年数が4年以上であっても、卒業に必要な単位数を修得していなければ4年次生を継続しなければならない

※＜ I Aa および I Ba ＞、＜ I Aa および I Bb ＞、＜ I Ab および I Ba ＞、＜ I Ab および I Bb ＞のセットでは条件を満たしません。

## (2) 平成25 (2013) 年度～平成18 (2006) 年度の入学生の進級基準

(グローバル・メディア・スタディーズ学部を除く)

(平成18 (2006) 年度以降の編再入学生は、入学年度によって進級基準の適用が異なります。)

2年次終了時の成績	
進級	①卒業に必要な単位を30単位以上修得しており、 かつ ②外国語必修 I A または I B のいずれか2単位を修得している者 (日本語を必修としている留学生は、外国語必修科目で2単位以上を修得している者)
原級に 留め置く	①卒業に必要な単位の修得が29単位以下の者、 または ②外国語必修 I A および I B が全て未修得の者 (日本語を必修としている留学生は、外国語必修科目の修得単位が1単位以下の者)
4年次終了時の成績	
原級に 留め置く	在学年数が4年以上であっても、卒業に必要な単位数を修得していなければ4年次生を 継続しなければならない

## (3) グローバル・メディア・スタディーズ学部の進級基準

2年次終了時の成績	
進級	卒業に必要な単位のうち30単位以上修得の者
原級に留め置く	卒業に必要な単位の修得が29単位以下の者
4年次終了時の成績	
原級に留め置く	在学年数が4年以上であっても、卒業に必要な単位数を修得していなければ4年次生を継続 しなければならない

## 7. 進級規程に伴う警告と勧告

以下の条件に該当する者は、所属学部より警告もしくは勧告がなされます。

警告	2年次を通年で2回継続し、翌年3年次に進級できない場合
退学勧告	2年次を通年で3回継続し、翌年3年次に進級できない場合

## 8. 在学条件

- ・在学年数を4年以上経過する3年次生が、卒業に必要な単位を修得した場合でも、次年度4年次に進級し、1年間在学しなければ卒業することはできません。
- ・3年次までに卒業に必要な単位数を修得した場合でも、4年間（在学年数）在学しなければ卒業することはできません（経済学部及び法学部の早期卒業制度適用者を除く）。
- ・上述のいずれの場合も、1科目以上（経営学部のみ2単位以上）履修登録しなければなりません。その際、成績が F や空欄であっても卒業は可能です。

## 9. 原級者

- ・原級者は留め置かれた年次に配当されている科目を履修してください。ただし、原級に留め置かれた場合に履修できなくなる科目がありますので、不明な点は教務部窓口で相談してください。

## 10. 駒澤大学進級規程

### ○駒澤大学進級規程

平成18年4月1日制定

#### (目的)

第1条 この規程は、駒澤大学学則第14条に基づき駒澤大学（以下「本大学」という。）の学生の教育並びに修学指導の充実を図るため、進級及び在学について必要な事項を定める。

#### (進級基準単位)

第2条 学生が2年次終了までに、次項に定める単位（以下「基準単位」という。）を修得しない場合は、3年次に進級することができない。

(1) 平成25年度以前入学生（グローバル・メディア・スタディーズ学部除く）

卒業に必要な単位のうち30単位（外国語必修 I A又は I B 2単位を含む）

(2) 平成26年度以降入学生（グローバル・メディア・スタディーズ学部除く）

卒業に必要な単位のうち30単位（外国語必修 I A a及び I A bの2単位又は I B a及び I B bの2単位のどちらかを含む）

(3) グローバル・メディア・スタディーズ学部所属学生

卒業に必要な単位のうち30単位

(4) 日本語を必修としている外国人留学生

卒業に必要な単位のうち30単位（外国語必修科目で2単位を含む）

#### (修学指導)

第3条 学生が2年次終了までに、基準単位に対して修得単位が不足する場合には、適切な指導を行い、かつ、保証人へ文書で学業に精励するよう促すものとする。

#### (退学勧告)

第4条 学生が在学年数4年を経過した次の学年始めに、3年次への進級ができない場合には、本大学学則第57条第3項第2号を準用し、教授会の議を経て退学を勧告する。ただし、半期休学をした学生の取り扱いは別に定める。

#### (在学条件)

第5条 在学年数4年以上を経過する3年次の学生が、卒業に必要な単位を修得した場合でも、次年度4年次に進級し、1年間在学しなければ卒業することができない。

#### (休学原級)

第6条 進級は、学年始めをもって行う。ただし、前年度において1学年（通年）休学中の学生は、進級することができない。

#### 附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。



## Ⅲ 留学

グローバル化の時代と言われる今日、広い視野で積極的に活動する国際感覚豊かなグローバル人材に大きな期待が寄せられています。こうした人材になるためには、国際情勢を正しく理解し、外国の言語や文化を海外の生活習慣のなかで学ぶことが必要不可欠です。本学では国際感覚を養う学習として多彩なプログラムを用意し、意欲ある学生をバックアップしています。留学や国際交流に興味のある皆さんは、なるべく早めに国際センター事務室（深沢キャンパス）で確認してください。

詳細は、国際センター事務室発行「駒澤大学留学ハンドブック」を参照してください。

### 1. 交換留学

本学と国際交流協定・学生交流協定を締結している海外の大学（協定校）に、交換留学生として1年間留学する制度です。この留学期間は駒澤大学での在学年数に算入され、留学先で修得した単位は学部教授会の承認により、卒業に必要な単位に算入することができます。

出願資格・選考試験等詳細は、国際センター事務室発行「交換留学生募集要項」を参照してください。

### 2. 認定校留学

「認定校留学」とは、外国における、「日本の大学に相当する」高等教育機関に該当する大学の正規の学部で、現在所属している学部の専門科目と同様の科目を履修登録し、単位を修得したうえで、帰国後に本学の学部教授会を通じて本学の単位として認定される留学です。この留学期間は駒澤大学での在学年数に算入されます。

ただし、留学先の決定から申請、諸手続きにいたるまでをすべて自分自身でおこない、留学先の授業料・滞在費等についても、自己負担となります。

留学前に本学の国際センター事務室に認定校留学の申請書類を提出し、所定の手続きをおこない、学部教授会で認定校留学の承認を受ける必要があります。

### 3. 短期語学セミナー

本学では協定校で、夏と春の年に2回、約1か月の短期語学セミナーを実施しています。留学の入門的コースで、1か月間ホームステイまたは大学寮に滞在しながら、外国人との交流を通して生きた語学を集中的に学習します。

この語学セミナー修了者には、随意科目として「英語（海外演習）」、「フランス語（海外演習）」、「スペイン語（海外演習）」または「中国語（海外演習）」の単位が認定されます（GMS 学部除く）。詳細は、国際センター事務室発行「短期語学セミナー募集要項」を参照してください。

## Ⅳ 学籍

### 1. 修業年限と在学年数

修業年限とは、大学の教育課程修了に必要な期間のことで、本大学の修業年限は4年です。

在学年数とは、大学において学生の身分を有することができる期間のことで、本大学の在学年数は休学期間を除き7年以下と定められています。

### 2. 休学

傷病その他の理由で、学年の前期または後期、もしくは1学年の3分の1以上の授業期間を修学することができないときは、理由を付し、保証人連署のうえ願い出て休学の許可を得なければなりません。

また、在学期間が4年（4年次に1年以上在学していること）を超えている者が半期科目で卒業必要単位を修得見込となる場合は、半期の履修による半期休学（前期休学もしくは後期休学）を願い出ることができます。

#### ●休学期間

①休学期間は前期または後期、もしくは1学年を区分とし、休学許可日（休学願受付日）から以下の期日までとします。

- a. 前期休学・・・・・・・・・・9月15日まで
- b. 後期休学・・・・・・・・・・当該年度末（3月31日）まで
- c. 通年休学・・・・・・・・・・当該年度末（3月31日）まで
- d. 半期履修（後期休学）・・・・2月20日まで

②引き続き休学を要する特別の事情があるときは、許可を得てさらに1か年に限り休学することができます。

③休学期間は通算4年を超えることはできません。

④休学が許可された学期または学年は在学年数に算入されません。

⑤休学理由が休学許可日より以下の期限内に消滅したときは、保証人連署の休学取り下げ願により休学を取り消すことがあります。

- a. 前期休学・後期休学・・・・1か月未満
- b. 通年休学・・・・・・・・・・2か月未満

#### ●休学の手続き

休学願（本学所定様式）に添えて次の書類を提出してください。

- a. 傷病・・・・・・・・・・医師の診断書
- b. 海外研修・・・・修学先・修学目的・在留期間を証明する書類および在留地届
- c. その他の理由・事前の窓口相談で指示された添付書類（理由書等）

#### ●休学手続の締切日

- a. 前期休学・・・・・・・・・・6月30日
- b. 後期休学・通年休学・・・・11月30日

※締切日は、曜日により変動することがあります。事前に相談してください。

#### ●休学する場合の学費

休学を願い出る者は在籍料として、下記の休学願提出日に応じて、当該年度学費を納入しなければなりません。

休学願提出日

- a. 4月1日～9月20日・・・・前期学費納入時期に半期分学費を納入済みのこと

- b. 9月21日～11月30日・・・前期・後期分学費を納入済みのこと

### ●休学原級

休学者が復学した場合の年次は以下のとおりです。

- a. 通年休学（1学年を区分とした休学）・・・従前年次に留め置き（休学原級）
- b. 前期休学・後期休学・・・次年次に進級。ただし、進級規程第2条（Ⅱ 成績 10. 駒澤大学進級規程の頁を参照）に該当する者はこの限りではありません。

## 3. 復学

- ①通年休学者（1学年を区分とした休学）および後期休学者が復学する場合は、当該年度前期分学費を納入のうえ、保証人連署の復学願を4月10日までに提出し許可を得なければなりません。この際、延納手続きは認めません。
- ②前期休学を許可された者が復学する場合は、保証人連署の復学願を9月20日までに提出し許可を得なければなりません。また、卒業必要単位充足により後期休学を許可された者は、保証人連署の復学願を2月20日までに提出し許可を得なければなりません。
- ③傷病で休学した場合は、通学可能なことを証明する医師の診断書が必要です。

## 4. 退学

傷病その他やむを得ない事由で退学しようとする者は、所定の退学願を提出し許可を得なければなりません。

- ①退学願は、退学理由を付し保証人連署で願い出なければなりません。
- ②退学願提出時に学生証を返還しなければなりません。
- ③退学年月日は次のとおりとします。
  - 当該期学費納入者・・・退学願提出日
  - 当該期学費未納者・・・学費納入済学期の最終日

## 5. 除籍

次の事項に該当する者は、学則第36条に基づき除籍となります。

- ①在学年数を越えた者
- ②休学期間を越え復学願を提出しない者
- ③前期、後期の納入期限までに所定の学費を納入せず、督促を受けてもなお納入しない者
- ④外国人留学生で、出入国管理および難民認定法に定める在留資格を喪失した者

## 6. 懲戒

①本大学の学則等に違反し、その他学生の本分に反する行為があった場合、学則第57条に基づき懲戒します。懲戒は、情状により譴責、停学、退学とします。

- ②退学処分は次の事項のいずれかに該当する者に対して行います。
  - a. 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者
  - b. 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
  - c. 正当の理由がなくて出席常でない者
  - d. 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

## 7. 転部・転科・転専攻・転コース

本大学の学生で、同一学部他学科、同一学科他専攻または他コースもしくは他の学部学科に転部、転科また

は転専攻もしくは転コースを希望する者があるときは、選考のうえ、許可することがあります。許可されたものの在学年数は、所属変更した年次に関わらず入学時期から通算します。

これについては、説明会を6月に開催しますので、希望者は5月中旬に教務部掲示板または KONECO で日程等の確認をしてください。

※ここで対象となるコースは法学部法律学科の「昼間主コース」、「夜間主コース」を指します。その他のコースについては教務部7～10番窓口で相談してください。

## 8. 再入学

本大学に1年以上在学し退学または除籍後3年以内（出願時を基準とする）で、在学していた学部・学科・専攻・コースに再入学を希望する者があるときは、事前審査・再入学試験を受験のうえ、許可することがあります。なお、学生募集を停止した学部・学科・専攻・コースには再入学できません。

再入学者の在学年数は、従前在学した年数と通算し7年以内となり、既修得単位がすべて認定されるとは限りません。

再入学希望者は、期日までの事務手続きが必要ですので、入学センター入試課（Tel. 03-3418-9109）に必ず相談してください。

## 9. 編入学

本大学を卒業した者または卒業見込みの者、または、本大学に2年以上在学し退学した者または除籍された者で、かつ50単位以上を修得した者が、本大学に編入学を希望するときは、編入学試験を受験のうえ、許可することがあります。

なお、再入学試験対象者は再入学試験が適用されます。

編入学相談希望者は、入学センター入試課（Tel. 03-3418-9109）に必ず相談してください。

## 10. 学生氏名・保証人

①学生氏名は、「住民票記載事項証明書」または「住民票」に基づき、原則として JIS 規格の文字で表示します。規格にない文字は JIS 準拠のものに改めることがあります。

②住民票に記載されている通称名の使用を希望する者は、願い出て許可を得てください。

③通称名使用の許可を得た者は、在学中一貫して通称名を使用することとし、学位記、証明書、成績表、各種名簿等すべて通称名で表示します。

④保証人は原則として、父、母とし、やむを得ない場合は独立の生計を営む親族または縁故者とします。

⑤保証人は、学生の在学中の一切の事項について責任を負うものとします。

⑥学生・保証人の氏名住所等に変更があった時は、速やかに所定の変更届を提出してください。

## 11. 学生・保証人住所変更

- ・学生住所の変更方法・・・KONECO（※）または、教務部11番窓口
- ・保証人住所の変更方法・・・教務部11番窓口

※ KONECO での住所変更申請は『保証人と別居（一人暮らし・下宿・入寮等）している学生のみ』が対象です。保証人住所の変更と一部の学生（留学生等）は KONECO で申請できません。教務部11番窓口で手続きを行ってください。

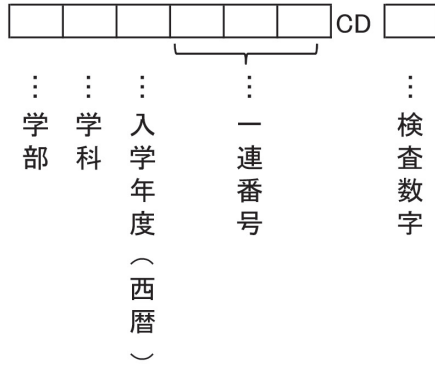
## 12. 学生番号

①学生番号は在学中はもとより、卒業後も不変の本人固有番号となるので正確に覚えておいてください。

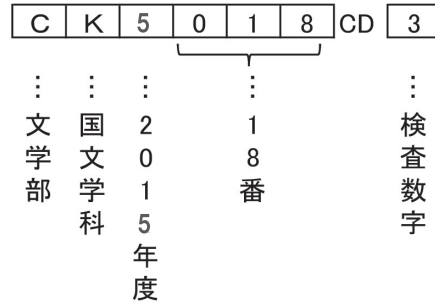
②学生番号は2種類の英字と4ケタの数字とCD1ケタの数字からなっており、その各位の英数字に次の意味を持たせてあります。

※CD（チェックデジット＝検査数字）とは、学生番号をカード読み取りや機械入力する際に番号の入力が正しいかをチェックするための数字です。

### 学生番号区分



### (例) 2015年度入学・文学部国文学科18番



学部	学科	専攻等	学部 コード	学科 コード	備考	
仏教	禅		B	R	2014年度以降入学生	
	仏教		B	B	2013年度以前入学者	
文	国文		C	K		
	英米文		C	B		
	地理	地域文化研究		N	R	
		地域環境研究		N	G	
	歴史	日本史学		C	G	
		外国史学		C	X	
		考古学		C	M	
	社会	社会学		S	K	
社会福祉学			S	B		
心理			N	B		
経済	経済		E	X		
	商		E	R		
	現代応用経済		E	G		
法	法律	フレックスA	L	K		
		フレックスB	L	B		
	政治		L	R		
経営	経営		M	G		
	市場戦略		M	R		
医療健康科	診療放射線技術科		H	K		
グローバル・メディア・スタディーズ	グローバル・メディア		G	K		



## V 事務取扱いについて

### 1. 窓口受付時間

教務部の事務受付時間は以下のとおりです。

窓口	月～金	土		備考
	対応時間	対応時間	休止時間	
教務部	9:00～ 18:00	9:00～ 15:00	12:00～ 13:00	※履修登録期間等は対応時間を変更する場合があります。
夜間事務センター	16:00～ 21:30	16:00～ 20:00		※簡易的な業務のみ取り扱いのため、履修相談等は教務部窓口で行ってください。

### 2. 届書・願書の受付

	種類	要領（必要書類）	本人印	保証人印	取扱窓口
届書	改氏名届	・戸籍抄本添付 変更後速やかに届け出ること	要	不要	11番
	本籍地変更届 (都道府県名が変更された場合のみ提出)	・住民票記載事項証明書添付 変更後速やかに届け出ること	要	不要	
	保証人変更届	・在学誓書（保証書）添付 変更後速やかに届け出ること	要	要	
	住所変更届（学生・保証人）	変更後速やかに届け出ること	不要	不要	
	死亡届	・死亡を証明できる書類添付（写し可）		要	
願書	追試験受験願	・大学が認めるやむを得ない理由の証明書を添付し、締切日までに届け出ること	不要	不要	8番
	休学願	・傷病による場合は、医師の診断書添付 ・外国で修学する場合は、修学先・修学目的・在留期間を証明する書類および在留地届 ・その他の場合は、保証人連署の理由書等	要	要	11番
	復学願	・傷病により休学した場合は、通学可能なことを証明する医師の診断書添付 ・後期休学、通年休学の場合は、4月10日までに提出すること ・前期休学した場合は、9月20日までに提出すること ・卒業必要単位充足により後期休学した場合は、2月20日までに提出すること	要	要	
	退学願	・学生証添付	要	要	

※大学の定める諸届・願書の提出期限が、日曜・祝日の場合は、その翌日までとします。

### 3. 証明書発行

大学で発行する主な証明書は、下表のとおりです。

- ① 下表(1)に該当する証明書は、教務部前に設置した証明書自動発行機で発行します。各自が学生証を使用して、発行機を操作してください。直接、その場で証明書を受け取ることができます。証明書の種類によっては発行期間が限られていますので窓口で確認してください。
- ② 下表(2)に該当する証明書は、窓口発行になります。証明書によっては発行に時間がかかりますので、余裕をもって申し込んでください。
- ③ 発行機を利用できる時間は、日曜・祝日と大学が定める休日を除き、月～金曜日は午前9時～午後9時10分、土曜日は午前9時～午後7時10分までです（「窓口発行」と指定されている証明書は窓口取扱時間に注意してください）。ただし、夏季休業中など利用時間を短縮する時期がありますので、大学ホームページ等で窓口時間を確認してください。

証明書の種類等		取扱窓口	料金
(1)	在学証明書	証明書自動発行機	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 在学生にかかわる証明書は1通200円（英文500円）</li> <li>ただし、以下の証明書は無料</li> <li>・学割証</li> <li>・推薦書（就職用）</li> <li>・通学証明書</li> <li>・コース修了証</li> <li>・教養特別履修コース修了証</li> <li>● 卒業生にかかわる証明書は1通300円（英文600円）</li> </ul>
	成績・卒業見込証明書（卒業年次生のみ）※1		
	成績証明書（在学生）		
	健康診断証明書（受診者のみ。5月中旬以降）		
	教員免許状取得見込証明書		
	コース修了証（経済学部・経営学部のコース登録者のみ）		
	教養特別履修コース修了証（コース登録者のみ）		
学割証（年間10枚まで）			
(2)	卒業証明書	教務部11番窓口	
	成績証明書（卒業生）		
	証明書（各種資格試験用）		
	英文による証明書		
	資格講座単位修得（見込）証明書	教務部2番窓口	
	学力に関する証明書		
	人物考査書（就職用に限る）	キャリアセンター	
推薦書（就職用に限る）※2	キャリアセンター		
通学証明書	学生部		

※1 「成績・卒業見込証明書」は、在学3年以上の4年次生に対し、その年次の履修単位数内で卒業に必要な単位数を満たすことができる場合に発行されます。

※2 「推薦書（就職用に限る）」は、求職登録者に限ります。また「調査書（進学用）」は、教務部に相談してください（各大学発行の所定の用紙持参のこと）。

その他、証明書に関することは、教務部11番窓口にご相談ください。

## 4. 個人情報の保護方針

### ●駒澤大学・駒澤短期大学 個人情報保護方針

本学は、個人情報が個人の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱われるべきものであることを認識し、本学の業務において取り扱う個人情報を保護し適正に取り扱うため、学校法人駒澤大学における個人情報保護のための取り組みの総合的かつ一体的な推進を図り、以下の通り個人情報の保護に関する基本方針を定めます。

1. 個人情報を取得するにあたっては、その利用目的をできる限り特定するとともに、その目的を達成する上で必要な範囲内で個人情報を適正な方法によって取得します。
2. 本学が取り扱う個人データについては、その漏えい、滅失又はき損等を防止し、その安全管理のために必要かつ適切な安全管理措置を講じます。
3. 本学が取り扱う個人データは、あらかじめ本人の同意を得ないで第三者に提供することはありません。なお、本学が、同意に基づいて個人データを提供するにあたっては、個人データの漏えい等を防止するため、提供先に対し個人データの適正な取扱い及び安全確保に必要な措置を義務づけ適切な管理を実施します。
4. 本学では、法律の定める手続きに基づき、保有個人データの開示、訂正等、及び利用停止等の求めに応じます。
5. 本学における個人情報保護への取り組みは適宜見直しを行い、継続的に改善して参ります。
6. 本学における個人情報の取扱いに関するお問い合わせ、及び各種手続等に関するお問い合わせは総務部（Tel.03-3418-9828）までご連絡ください。

### ●「個人情報の保護に関する法律」に基づく法定公表事項について

駒澤大学（以下「本学」という。）は、「個人情報の保護に関する法律」に基づき本学が取り扱う個人情報を保護し適正な取扱いを確保するため、同法に基づき公表が義務づけられている事項について以下の通り公表します。

#### 1. 本学が取り扱う個人情報の利用目的（法第18条1項関係）

本学は、本人から直接書面（電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録を含む。）に記載された当該本人の個人情報を取得するにあたっては、その利用目的を個人情報の取得の際に明示します。

本人から直接書面による方法以外の方法によって個人情報を取得するにあたっては、以下に掲げる利用目的の制限の範囲内で個人情報を取扱います。

- (1)本学に関わる業務上の各種通知・連絡を行うため
- (2)授業を滞りなく運営するため
- (3)学生指導をするため
- (4)学生等の学籍管理、履修・成績管理等を行うため
- (5)各種証明書を発行するため
- (6)各種アンケートを実施するため
- (7)学生等の各種福利厚生業務（奨学金交付、各種助成、アパート・貸室・アルバイト紹介、遺失物、学生生活支援）を行うため
- (8)厚生施設利用管理のため
- (9)学生団体及び個人の課外活動支援業務を行うため
- (10)教育後援会運営のため
- (11)健康管理を行うため
- (12)就職支援及び就職活動支援を行うため
- (13)各種講座・ガイダンス運営のため
- (14)進学情報を提供するため
- (15)学費等の収納管理業務を行うため
- (16)教育研究に要する施設整備の各種募金活動を行うため
- (17)同窓会、駒澤会及び各OB会の円滑な運営の支援及び各種通知・連絡のため
- (18)図書館、禅文化歴史博物館、コミュニティ・ケアセンター及び玉川校舎の施設利用管理業務を行うため
- (19)図書館の貸出管理業務を行うため
- (20)国際交流運営管理業務を行うため
- (21) 語学検定試験等各種資格試験実施のため
- (22) 語学セミナー実施運営管理業務を行うため
- (23) KOMAnet ユーザー登録及びID管理のため
- (24) KONMA（グループウェア）利用管理のため
- (25) 上記の他、本学の管理・運営に関わる業務において必要な事務を処理するため

(4)について、個人データの提供停止を希望する場合は、教務部（Tel.03-3418-9121）までご連絡ください。  
または(17)について、個人データの提供停止を希望する場合は、総務部（Tel.03-3418-9828）までご連絡ください。

2. 本学が取り扱う保有個人データに関する事項（法第24条1項関係）

1) 個人情報取扱事業者の名称

駒澤大学

2) 本学における教育・研究活動及び学校教育法に基づく本学の管理・運営に係る業務における保有個人データの利用目的

a) 授業その他の教育活動を行うため

b) 本学の管理・運営に関する業務において必要な事務を処理するため

c) 学生の教務事務のため

d) 学生の生活支援活動のため

e) 学生の支援・助成活動のため

f) 学生の就職活動支援業務のため

g) 図書館、禅文化歴史博物館、コミュニティ・ケアセンター、附属研究所の業務運営を行うため

h) 学内ネットワークの管理運営を行うため

i) 入学試験業務を行うため

j) 駒澤大学教育後援会・同窓会・駒澤会に個人データを提供するため

3) 個人情報の取扱いに関する窓口及び保有個人データの開示等の求めのお申し出先

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1 駒澤大学 総務部 (Tel.03-3418-9828)

受付時間 10:00~16:00 (月曜日から金曜日まで)

## 第2章

### 教育課程（開設科目）について





# I 教育課程の編成

## 教育課程の特徴と履修上の注意

診療放射線技術科学科の授業科目は全学共通科目と専門教育科目からなっています。全学共通科目は、各学部共通に設置されており、大学生としての視野を広げるための科目です。専門教育科目は、学科独自の診療放射線関連の科目であり、必修科目（必ず履修すべき科目）の割合が高いのが本学科の特徴です。これは、診療放射線技師の業務に必須とされる内容が、非常に広範囲にわたっているからです。この科目編成は、診療放射線技師国家試験の受験資格を得るために必要な文部科学省・厚生労働省の定めた指定規則に適合する内容にもなっています。

各授業科目は基礎から順に無理なく学習できるよう、履修学年が定められています。言い換えると、高学年での科目は低学年での科目の理解を前提にしています。したがって、各学年における必修科目をしっかりと理解するよう努めてください。特にすべての基礎を学ぶ1年次の学習は大切です。これらの学習を進めるにあたって科目によっては高校での基礎学修が十分でなかった場合もあるでしょう。1年次の選択科目にはそのような場合に備えた科目も用意してあります。自分の学修状況に応じて選択してください。高学年次における必修科目は広範囲にわたっていますので、1年次のうちに不得意分野を無くしておくことが大切です。

3～4年次には学外の病院で実習を行います。実際の医療の場に参加するのは、学内では決して出来ない貴重な体験になるでしょう。このときは、それまで学んだ知識が試されることにもなります。実習を実のあるものにするためにも、学内でしっかり勉強しておくことが大切です。

4年次になると専門教育科目にも選択科目が増えてきます。自分の興味ある科目を選択し、より深くより広く学修することができます。意欲を持って多数の科目を選択してみてください。さらに4年次には「総合研究」という名のついた必修科目があります。これは4年間の集大成的な科目であり、自分なりのテーマを定め、教員の指導を受けながら研究論文を纏めます。この場合も、1～3年次における学修内容が基礎になってきます。

## 授業科目の区分と教育目標

授業科目は、次のように区分されます。

●卒業に必要な単位に含まれる科目	●卒業に必要な単位に含まれない科目
1. 全学共通科目	・ 随意科目
(1) 宗教教育科目	・ 資格講座科目
(2) 教養教育科目	
(3) 外国語科目	
(4) 保健体育科目	
2. 専門教育科目	

各授業科目の区分には、次のような教育目標が設定されています。

授業科目の区分	教育目標
宗教教育科目	<p>本学は、仏教の教義並びに曹洞宗立宗の精神に則り、学校教育を行うことを目的として設置されており、この点が私学としての本学の特色です。宗教教育科目は、この設置の目的に基づき、全学生諸君が仏教や禅の教えについての理解を深め、宗教に対する正しい認識を身につけることを教育の目標とします。</p>
教養教育科目	<p>多角的な知識と深い教養を身につけることによって、公正な判断力を有する豊かな人間性を涵養することを教育の目標としています。</p>
外国語科目	<p>情報通信や交通手段の発達によって、世界がますます狭くなり、それに合わせて日本も国際社会の中に深く組み込まれている今日、外国の文化や社会について正確な知識を得、国際感覚を養い、諸外国の人々との交流を深めることは、大きな意義をもつはずで、そのためには、外国語の確かな運用能力を身につけることが不可欠です。</p> <p>学習者の希望・関心や進路に応じて、積極的に系統だった知識を深めるように心がけてください。</p>
保健体育科目	<p>本学の「保健体育科目」は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。</p> <p>人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的財産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。</p> <p>本学の「保健体育科目」は、様々なスポーツ種目を展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。</p> <p>さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。</p>
専門教育科目	<p>診療放射線技術科学科は2コース制の採用により、単に診療放射線技師資格取得のみにとどまらず、診療画像および医用放射線科学領域における豊かな基礎力に支えられた先進的な専門知識・技術を備えた医療人を、講義、演習、実験、実習、総合研究と多様な授業形態をとおして育成することを目標としています。</p>

# 単位

## 1. 単位制度

大学での学修は単位制をとっています。単位制とは、授業科目を履修し、平素の学修状況・出席状況および所定の試験（レポート提出を含む）による成績評価の結果、合格することにより、授業科目ごとに定められている単位を修得していく制度です。そして、在学期間内に卒業に必要な単位をすべて修得すれば卒業することができます。

## 2. 授業科目の単位数

単位とは、授業科目の学修量を数字で表したものです。授業科目の単位数は1単位につき、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。この時間には、教場で行われる授業時間以外に予習・復習等にあてる時間も含まれています。授業の実施方法に応じ、学修量等を考慮してそれぞれの授業科目によって単位数が決められています。

## 3. 単位の認定

授業科目ごとに定められた所定の単位を修得するためには、次の要件を満たさなければなりません。

- ・単位の認定を受けようとする授業科目について、履修登録をすること。
- ・履修科目の授業に出席し、必要な学修をすること。
- ・履修科目の試験（レポート提出を含む）等による成績評価を受け、合格すること。

## 4. 履修単位の区分（必修・選択必修・選択科目）

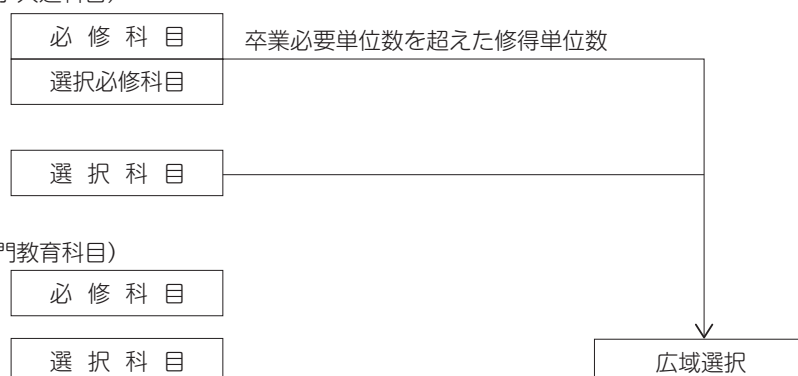
授業科目は、下表の条件に従ってグループ分けされています。

必修科目	卒業するために、必ず修得しなければならない科目
選択必修科目	卒業するために、指定された複数の授業科目群の中で、指定された科目数（単位数）を修得しなければならない科目
選択科目	自由に選択・履修でき、卒業に必要な単位数に算入される科目

## 5. 卒業必要単位における修得単位算定の流れ

指定された卒業必要単位数を超えて修得した単位数は、下表のように流れます。

（全学共通科目）



### ●広域選択の単位について

- ・全学共通科目の宗教教育科目・教養教育科目（自然分野を除く）・外国語科目の授業科目区分ごとに定められている卒業に必要な単位数を超えて修得した単位数は、広域選択の単位数となり、卒業に必要な単位数として認定されます。

## 6. 卒業に必要な単位数

卒業に必要な単位数とは、それぞれの学部、学科を卒業し、学位を得るために必要な最低限の単位数です。

### ・診療放射線技術科学科（診療技術科学コース・画像技術科学コース共通）

#### 《平成26（2014）年度以降入学生用》

（必要最低単位数）

授業科目の区分		必修	選択必修	選択	広域選択	
全学共通科目	宗教教育科目	4			※ 4	
	教養教育科目	人文分野		4		
		社会分野				
		自然分野	6	2		
		ライフデザイン分野				
	外国語科目	*6				
保健体育科目	4					
専門教育科目		93		11		
合計		134				

※ 教養教育科目の自然分野を除く

\* 全て英語とする

#### 《平成25（2013）年度以前入学生用》

（必要最低単位数）

授業科目の区分		必修	選択必修	選択	広域選択	
全学共通科目	宗教教育科目	4			※ 4	
	教養教育科目	人文分野		4		
		社会分野				
		自然分野	6	2		
		総合分野				
	外国語科目	*6				
保健体育科目	4					
専門教育科目		93		11		
合計		134				

※ 教養教育科目の自然分野を除く

\* 全て英語とする

## 7. 年間履修制限単位数

各年次において、修得できる単位数に上限が定められています。

年次	1年次	2年次	3年次	4年次
履修制限単位数	56単位			

### ●注意事項

- ・再履修する授業科目の単位も、年間履修制限単位数に含まれます。
- ・資格講座科目および随意科目の単位は、年間履修制限単位数に含まれません。
- ・卒業必要単位数を充足していたとしても、各年次に1科目以上履修登録しなければなりません。

## 8. 卒業および学位記の授与

大学に4年以上在学し、卒業に必要な単位を修得した者は卒業となります。卒業者には次の学位が与えられ、学位記が授与されます。

学部	学科	学位記名
医療健康科学部	診療放射線技術科学科	学士（保健衛生学）

## 9. 9月卒業・卒業必要単位修得に伴う後期休学（半期履修）について

### (1) 9月卒業

#### ●対象者

9月15日現在で在学期間が4年（4年次に1年以上在学していること）を超えており、卒業に必要な単位を修得見込みで、9月卒業を希望する者。

#### ●9月卒業申請

(3)の説明会に必ず出席し、所定の期間に「9月卒業申請書」を提出してください。また、9月卒業の希望を追加・取り消す場合は、前期科目定期試験期間内に必ず申し出てください。

申請がない場合は、9月卒業の対象となりませんので、注意してください。

#### ●9月卒業申請期間

4月23日（木）～25日（土）※土曜日は正午まで

#### ●9月卒業申請追加・取消期間

7月25日（土）、27日（月）～31日（金）※土曜日は正午まで【前期科目定期試験期間】

#### ●相談窓口

教務部7～10番窓口

### (2) 卒業必要単位修得に伴う後期休学（半期履修）

#### ●対象者

9月15日現在で在学期間が4年（4年次に1年以上在学していること）を超えており、かつ前期に卒業必要単位数を充足した者で3月卒業を希望する者（9月卒業申請者は、後期休学を申請できません）。

#### ●休学申請

(3)の説明会に必ず出席し、所定の期間に「後期休学」の手続きを行ってください。

#### ●担当窓口

教務部11番窓口

### (3) 9月卒業等説明会

平成27年4月3日（金）※時間・場所は教務部掲示板を参照のこと。



## 10. 1年次履修科目の決定順序

下表は、卒業必要単位数と1年次に履修可能な授業科目を踏まえ、年間履修制限単位数一杯まで単位数を埋めて履修する場合の履修科目の決定順序例です。

順序	科目区分	授業科目	科目数	単位数
1	宗教教育科目	仏教と人間	1	4
2	外国語科目	英語 I A a・I A b、英語 I B a・I B b	4	4
3	保健体育科目	健康・スポーツ実習、保健理論	2	4
4	教養教育科目 (必修)	(自然分野) 基礎数学 A・B、基礎物理学 A・B、基礎化学 I・II	6	6
5	教養教育科目 (選択必修)	(自然分野) 生命科学、情報処理技術、数学序論、物理学序論 A・B、化学序論、科学基礎論	2	2
		人文・社会分野から	1~2	4
6	教養教育科目 (選択)	(ライフデザイン分野) 新入生セミナー (指定クラス)	1	2 ※1
7	専門教育科目 (必修)	解剖学、環境保健医学、電気工学 I、他	11	14
8	専門教育科目 (選択)	画像処理概論	1	1
9	全学共通科目 (宗教・教養・外国)		1~2	2 ※1
10	全学共通科目 (宗教・教養・外国)	「順序5 教養教育科目 (選択必修)」の人文・社会分野から履修することが望ましい。ただし、その他の全学共通科目を履修することもできます。		
1年次履修制限単位数				56 ※2

※1 修得した単位数は広域選択の単位として認定されます。

※2 卒業に必要な単位として1年次に修得できる単位数は43単位までですが、1年次の履修制限単位数は56単位まで設けられています。

## Ⅱ 開設科目

### 開設科目一覧の見方

#### 開設科目一覧のサンプル

対象入学年度：平成26（2014）年度以降入学生

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				受講予約科目	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4				
必修	1科目	4単位		科目A	4	通年	1							《玉川キャンパス》 《再クラス》
選択				科目B	4	通年	1	2			◎予		休	
				科目C	2	半期	1	2	3	4	◎予	有		
				科目D	2	半期	1	2	3	4	◎予			

対象入学年度	ここに記載のある場合は、開設科目一覧がどの入学年度を対象としているかを表します。
必・選	履修単位の区分（必修・選択必修・選択科目）を表します。
卒業必要	卒業に必要な「科目数」と「単位数」を表します。科目数の指定がない場合は、指定された単位数を修得してください。
分野	教養教育科目の4分野（人文分野・社会分野・自然分野・ライフデザイン分野）のどの分野に該当しているかを表します。
科目名	授業科目名を表します。
単位	授業科目に定められた単位数を表します。
開講期	授業科目に定められた開講期（半期・通年）を表します。 「半期」：前期または後期に始まり、半年間行われる授業 「通年」：前期から始まる1年間通して行われる授業 「集中」：夏季休業期間に約1週間かけて行われる授業 「シーズン」：夏季または冬季休業期間に短期で行われる合宿等を伴う授業
配当年次	授業科目の履修できる年次を表します。 ・下級年次に配当されている科目は、上級年次に履修可能です。 ・ただし、配当年次以外に斜線が付けられている場合は、指定された年次以外では履修できません。
受講予約科目	定員を超えた履修登録申請があった場合に、抽選によって履修者を決定する科目を受講予約科目と呼び、「◎予」で表記しています。 ※「◎予」が2科目にまたがって表記されている場合は、セットで履修することが望ましいとされている科目です。定員を超えた履修登録申請により抽選が発生した場合は、前後期セットで履修登録した学生は2科目同時当選もしくは2科目同時落選が原則となります。2科目のうちどちらか一方のみを履修登録した場合も、抽選が行われます。
履修不可科目	この欄の記載のある科目を過去に単位修得済みの場合は履修できません。 履修不可対象科目一覧は、対象の入学年次の開設科目一覧の最後にも掲載されています。
本年度休講	本年度の授業科目の休講の有無を表します。休講の場合は「休」と表記しています。
注意事項	履修時に必要な注意事項を表します。 《学生番号指定》：履修するクラスが学生番号で指定されている科目です。学生番号指定については、『授業時間表』で確認できます。 《受講制限》：主に担当教員が自ら履修者数を制限している授業科目です。 《再クラス》：再履修になった場合、再クラスでの履修となります。詳しくは、第1章Ⅰ「再履修」の頁を参照してください。 《玉川キャンパス》：玉川キャンパスで授業が行われる授業科目です。 《種目・定員》：保健体育科目について、開講されている種目と定員数です。

# 全学共通科目

## 宗教教育科目

### 1. 履修上の注意

- ①宗教教育科目は、全学共通科目として設置され、必修科目と選択科目に分かれており、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって内容が異なる場合があります。詳細は『シラバス』を参照してください。
- ③選択科目として修得した単位数は、宗教教育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。

### 2. 開設科目一覧

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				受講 予約 科目	履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項
	科目 数	単位 数				1	2	3	4				
必修	1 科目	4 単位	仏教と人間	4	通年	1							《玉川キャンパス》 《再クラス》
選択			文化と宗教	4	通年	1	2	3	4	◎予			
			社会と宗教	4	通年	1	2	3	4	◎予			
			自然と宗教	4	通年	1	2	3	4	◎予			
			坐禅	2	半期	1	2	3	4	◎予			

# 教養教育科目

---

## 1. 履修上の注意

- ①教養教育科目は、全学共通科目として設置され、必修科目（選択必修科目含む）および選択科目に分かれており定められた単位を修得しなければなりません。
- ②教養教育科目は、人文分野、社会分野、自然分野に分かれています。さらに、平成26（2014）年度以降入学生はライフデザイン分野、平成25（2013）年度以前入学生は総合分野が教養教育科目に開設されております。平成25年度までに修得した単位数は、修得時の分野で認定されています。
- ③同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、『シラバス』を参照してください。
- ④選択必修科目の人文・社会分野で4単位を超えて修得した単位数と、平成25（2013）年度以前入学生は選択科目の人文・総合分野で修得した単位数、平成26（2014）年度以降入学生は選択科目の人文・ライフデザイン分野で修得した単位数は、教養教育科目の各分野の科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。選択必修科目の自然分野で2単位を超えて修得した単位数は卒業に必要な広域選択の単位数に算入されません。
- ⑤フレックスB時間帯（月～金曜日6・7時限、土曜日3～7時限）に開講されている教養教育科目（人文・社会・ライフデザイン分野の一部科目）を履修することができます。

## 2. 開設科目一覧

対象入学年度：平成26（2014）年度以降入学生

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				受講 予約 科目	履修 不可 科目	本 年 度 休 講	注意事項		
	科目 数	単位 数					1	2	3	4						
必修	6 科目	6 単位	自然分野	基礎数学A	1	半期	1									
				基礎数学B	1	半期	1									
				基礎物理学A	1	半期	1									
				基礎物理学B	1	半期	1									
				基礎化学I	1	半期	1									
				基礎化学II	1	半期	1									
選択必修	2 科目	2 単位	自然分野	生命科学	1	半期	1									
				情報処理技術	1	半期	1							《学生番号指定》 ・1年次に全員履修することが望ましい。		
				数学序論	1	半期	1									
				物理学序論A	1	半期	1									
				物理学序論B	1	半期	1									
				化学序論	1	半期	1							・週2回開講科目		
				科学基礎論	1	半期	1							・1年次に全員履修することが望ましい。		
選択必修	4 単位 (人文分野・社会分野から)		人文分野	宗教学	4	通年	1	2	3	4	◎予					
				人間観A	2	半期	1	2	3	4	◎予					
				人間観B	2	半期	1	2	3	4	◎予					
				価値観	4	通年	1	2	3	4	◎予					
				制度とモラル	4	通年	1	2	3	4	◎予					
				現代と倫理	4	通年	1	2	3	4	◎予					
				東洋倫理	4	通年	1	2	3	4	◎予					
				科学方法論と現代論理	4	通年	1	2	3	4	◎予					
			社会分野	知の技法	4	通年	1	2	3	4	◎予					
				経済学	4	通年	1	2	3	4	◎予				・「経済学A・B」どちらかの単位を修得済の場合「経済学」を履修できません。	
				経済学A	2	半期	1	2	3	4	◎予				・「経済学」の単位を修得済の場合「経済学A・B」を履修できません。	
				経済学B	2	半期	1	2	3	4	◎予				・「経済学」と「経済学A・B」は同時に履修できません。	
				政治学	4	通年	1	2	3	4	◎予					
				法学・憲法	4	通年	1	2	3	4	◎予				休	・集中の講座については、「シラバス」掲載の日程を確認し、履修してください。 「授業時間表」では「集中」と表示されています。
					集中											
				民族と文化A	2	半期	1	2	3	4	◎予					
				民族と文化B	2	半期	1	2	3	4	◎予					
				社会学	4	通年	1	2	3	4	◎予					・「社会学A・B」どちらかの単位を修得済の場合「社会学」を履修できません。
				社会学A	2	半期	1	2	3	4	◎予					・「社会学」の単位を修得済の場合「社会学A・B」を履修できません。
				社会学B	2	半期	1	2	3	4	◎予					・「社会学」と「社会学A・B」は同時に履修できません。
社会科学論A	2	半期	1	2	3	4	◎予									
社会科学論B	2	半期	1	2	3	4	◎予									
現代社会と宗教A	2	半期	1	2	3	4	◎予									
現代社会と宗教B	2	半期	1	2	3	4	◎予									
応用倫理学	4	通年	1	2	3	4	◎予									

対象入学年度：平成26（2014）年度以降入学生

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				受講 予約 科目	履修 不可 科目	本学 休講	注意事項	
	科目数	単位数					1	2	3	4					
選択			人文分野	日本語文化基礎	2	半期	1	2	3	4	◎予				
				日本文化基礎	2	半期	1	2	3	4	◎予				
				実務表現Ⅰ（話すこと）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
				実務表現Ⅱ（書くこと）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
			ライフデザイン分野	新入生セミナー	2	半期	1								《学生番号指定》
				駒澤大学の歴史	2	半期	1	2	3	4	◎予				



対象入学年度：平成23（2011）～25（2013）年度入学生

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				受講 予約 科目	履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項	
	科目 数	単位 数					1	2	3	4					
必修	6 科目	6 単位	自然 分野	基礎数学A	1	半期	1					有	※1		
				基礎数学B	1	半期	1					有			
				基礎物理学A	1	半期	1					有			
				基礎物理学B	1	半期	1					有			
				基礎化学Ⅰ	1	半期	1					有			
				基礎化学Ⅱ	1	半期	1					有			
選択必修	2 科目	2 単位	自然 分野	生命科学	1	半期	1								
				情報処理技術	1	半期	1							・1年次に全員履修することが望ましい。	
				数学序論	1	半期	1								
				物理学序論Ⅰ	1	半期	1								
				物理学序論Ⅱ	1	半期	1								
				化学序論	1	半期	1							・週2回開講科目	
選択必修	4 単位（人文分野 社会分野か㉔）	人文 分野	宗教学	4	通年	1	2	3	4	◎予					
			倫理学	4	通年	1	2	3	4	◎予					
			論理学	4	通年	1	2	3	4	◎予					
			文学	4	通年	1	2	3	4	◎予					
		経済学	4	通年	1	2	3	4	◎予						
		社会 分野	法学・憲法	4	通年 集中	1	2	3	4	◎予		休	・集中の講座については、「シラバス」掲載の日程を確認し、履修してください。「授業時間表」では「集中」と表示されています。		
			文化人類学	4	通年	1	2	3	4	◎予					
			社会学	4	通年	1	2	3	4	◎予					
			人文 分野	日本語文化基礎	2	半期	1	2	3	4	◎予				
				日本文化基礎	2	半期	1	2	3	4	◎予				
実務表現Ⅰ（話すこと）	2			半期	1	2	3	4	◎予	有		※2			
実務表現Ⅱ（書くこと）	2	半期		1	2	3	4	◎予	有						
総合 分野	総合Ⅲ	4	通年	1	2	3	4	◎予							
	総合Ⅳ	4	通年	1	2	3	4	◎予							

※1「基礎数学」「基礎物理学」「基礎化学」の3科目は、平成26年度からのカリキュラム変更により名称等が変更となりました。これらの科目を単位未修得の場合、下表に従って現行科目名の授業を履修してください。同名科目の「AとB」もしくは「ⅠとⅡ」の両方の単位を修得すると、旧科目名に読み換えて単位認定されます。

単位未修得科目 (旧科目名)	履修すべき科目 (現行科目名)	認定科目名	認定単位
基礎数学	基礎数学A	基礎数学	2
	基礎数学B		
基礎物理学	基礎物理学A	基礎物理学	2
	基礎物理学B		
基礎化学	基礎化学Ⅰ	基礎化学	2
	基礎化学Ⅱ		

※2「実務表現Ⅰ（話すこと）」「実務表現Ⅱ（書くこと）」の2科目を単位修得すると、下表のとおり科目名を読み換えて単位認定されます。

現行科目名	旧科目名	認定科目名	認定単位
実務表現Ⅰ（話すこと）	実務表現	実務表現	4
実務表現Ⅱ（書くこと）			

対象入学年度：平成22（2010）年度以前入学生

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				受講予約科目	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4				
必修	6科目	6単位	自然分野	基礎数学A	1	半期	1					有	※1	
				基礎数学B	1	半期	1					有		
				基礎物理学A	1	半期	1					有		
				基礎物理学B	1	半期	1					有		
				基礎化学Ⅰ	1	半期	1					有		
				基礎化学Ⅱ	1	半期	1					有		
選択必修	2科目	2単位	自然分野	生命科学	1	半期	1						・1年次に全員履修することが望ましい。	
				情報処理技術	1	半期	1							
				数学序論	1	半期	1							・週2回開講科目
				物理学序論	1	半期	1							
				化学序論	1	半期	1							・1年次に全員履修することが望ましい。
				科学基礎論	1	半期	1							
選択必修	4単位（人文分野・社会分野から）	人文分野	宗教学	4	通年	1	2	3	4	◎予			・集中の講座については、「シラバス」掲載の日程を確認し、履修してください。「授業時間表」では「集中」と表示されています。	
			倫理学	4	通年	1	2	3	4	◎予				
			論理学	4	通年	1	2	3	4	◎予				
			文学	4	通年	1	2	3	4	◎予				
		経済学	4	通年	1	2	3	4	◎予					
		社会分野	法学・憲法	4	通年	1	2	3	4	◎予		休		
			文化人類学	4	通年	1	2	3	4	◎予				
			社会学	4	通年	1	2	3	4	◎予				
総合分野	総合Ⅲ		4	通年	1	2	3	4	◎予					
選択	4単位	人文分野	日本語文化基礎	2	半期	1	2	3	4	◎予			※2	
			日本文化基礎	2	半期	1	2	3	4	◎予				
			実務表現Ⅰ（話すこと）	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			実務表現Ⅱ（書くこと）	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
		総合分野	総合Ⅲ	4	通年	1	2	3	4	◎予				
			総合Ⅳ	4	通年	1	2	3	4	◎予				

※1「基礎数学」「基礎物理学」「基礎化学」の3科目は、平成26年度からのカリキュラム変更により名称等が変更となりました。これらの科目を単位未修得の場合、下表に従って現行科目名の授業を履修してください。同名科目の「AとB」もしくは「ⅠとⅡ」の両方の単位を修得すると、旧科目名に読み換えて単位認定されます。

単位未修得科目 (旧科目名)	履修すべき科目 (現行科目名)	認定科目名	認定単位
基礎数学	基礎数学A	基礎数学	2
	基礎数学B		
基礎物理学	基礎物理学A	基礎物理学	2
	基礎物理学B		
基礎化学	基礎化学Ⅰ	基礎化学	2
	基礎化学Ⅱ		

※2「実務表現Ⅰ（話すこと）」と「実務表現Ⅱ（書くこと）」の両方の単位を修得すると、下表のとおり科目名を読み換えて単位認定されます。

現行科目名	旧科目名	認定科目名	認定単位
実務表現Ⅰ（話すこと）	実務表現	実務表現	4
実務表現Ⅱ（書くこと）			

### 3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、対応する現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	適用年度
基礎数学A	基礎数学	平成25 (2013) 年度以前
基礎数学B		
基礎物理学A	基礎物理学	
基礎物理学B		
基礎化学Ⅰ	基礎化学	
基礎化学Ⅱ		
実務表現Ⅰ (話すこと)	実務表現	
実務表現Ⅱ (書くこと)		

### 4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度
基礎数学	平成26 (2014) 年度以降
基礎物理学	
基礎化学	
実務表現	

# 外国語科目

## 1. 履修上の注意

- ①外国語科目は、全学共通科目として設置され、必修科目と選択科目に分かれており、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②学生番号が指定されている場合は、指定された曜日、時限、担当教員の科目を履修してください。学生番号の指定については、『授業時間表』に掲載されています。
- ③同一名称の科目でも、開講期、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、『シラバス』を参照してください。
- ④選択科目として修得した単位数は、外国語科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数として算入されます。
- ⑤英語選択科目について  
英語選択科目は初級・中級・上級のレベルで開講されます。履修する前に次のウェブページの説明を読み、自分の英語力にふさわしいレベルの科目を受講してください。  
外国語科目について：[http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikokugo\\_risyu](http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikokugo_risyu)

## 2. 開設科目一覧

対象入学年度：平成26（2014）年度以降入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				受講 予約 科目	履修 不可 科目	本 年 度 休 講	注意事項
	科目数	単位数											
必修	4 科目	4 単位	英語 I A a	1	半期	1							《学生番号指定》 《玉川キャンパス》 《再クラス》
			英語 I A b	1	半期	1							
			英語 I B a	1	半期	1							
			英語 I B b	1	半期	1							
	2 科目	2 単位	英語 II A a	1	半期		2						《学生番号指定》 《再クラス》
			英語 II A b	1	半期		2						
選択			英語プレゼンテーション I a	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語プレゼンテーション I b	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語ディスカッション I a	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語ディスカッション I b	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語アカデミック・ライティング I a	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語アカデミック・ライティング I b	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			外国文化 a	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			外国文化 b	2	半期	1	2	3	4	◎予			

対象入学年度：平成25（2013）年度以前入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				受講 予約 科目	履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項
	科目 数	単 位数											
必修	4 科目	4 単位	英語 I A a	1	半期	1					有	《学生番号指定》 《玉川キャンパス》 《再クラス》	
			英語 I A b	1	半期	1					有		
			英語 I B a	1	半期	1					有		
			英語 I B b	1	半期	1					有		
	2 科目	2 単位	英語 II A a	1	半期		2				有	《学生番号指定》 《再クラス》	
			英語 II A b	1	半期		2				有		
選択			実用英会話（日常生活編）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			実用英会話（旅行編）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			英語プレゼンテーション I a	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			英語プレゼンテーション I b	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			英語ディスカッション I a	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			英語ディスカッション I b	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			英語プレゼンテーション II a	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			英語プレゼンテーション II b	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語 I Aa（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語 I Ab（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語 I Ba（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語 I Bb（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		

読替科目対象表

○平成26年度からのカリキュラム変更により、外国語科目の名称等が変更となりました。これらの科目（現行科目2科目の両方）を単位修得すると、下表に基づき旧科目名に読み替えて単位認定されます。

対象入学年度：平成25（2013）年度以前入学生

現行科目名	旧科目名	認定科目名	認定単位
英語 I A a	英語 I A	英語 I A	2
英語 I A b			
英語 I B a	英語 I B	英語 I B	2
英語 I B b			
英語 II A a	英語 II A	英語 II A	2
英語 II A b			
実用英会話（日常生活編）	英会話 I	英会話 I	2
実用英会話（旅行編）			
英語プレゼンテーション I a	英語 LL I	英語 LL I	2
英語プレゼンテーション I b			
英語ディスカッション I a	英会話 II	英会話 II	2
英語ディスカッション I b			
英語プレゼンテーション II a	英語 LL II	英語 LL II	2
英語プレゼンテーション II b			
ドイツ語 I A a（選）	ドイツ語 I A（選）	ドイツ語 I A（選）	2
ドイツ語 I A b（選）			
ドイツ語 I B a（選）	ドイツ語 I B（選）	ドイツ語 I B（選）	2
ドイツ語 I B b（選）			

### 3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、対応する現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	適用年度
英語 I A a	英語 I A	平成25 (2013) 年度以前
英語 I A b		
英語 I B a	英語 I B	
英語 I B b		
英語 II A a	英語 II A	
英語 II A b		
実用英会話 (日常生活編)	英会話 I	
実用英会話 (旅行編)		
英語プレゼンテーション I a	英語 LL I	
英語プレゼンテーション I b		
英語ディスカッション I a	英会話 II	
英語ディスカッション I b		
英語プレゼンテーション II a	英語 LL II	
英語プレゼンテーション II b		
ドイツ語 I A a (選)	ドイツ語 I A (選)	
ドイツ語 I A b (選)		
ドイツ語 I B a (選)	ドイツ語 I B (選)	
ドイツ語 I B b (選)		

### 4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度
英語 I A	平成26 (2014) 年度以降
英語 I B	
英語 II A	
英会話 I	
英語 LL I	
英会話 II	
英語 LL II	
ドイツ語 I A (選)	
ドイツ語 I B (選)	



# 保健体育科目

## 1. 履修上の注意

- ①保健体育科目は、全学共通科目として設置され、必修科目（実技・講義）として定められた単位を修得しなければなりません。
- ②玉川キャンパスの「実技科目」は、種目によっては天候等に左右され、本来の授業計画が変更される場合があります。
  - ・受講する学生の習熟度によって学習の進度が変更になる場合があります。
  - ・『シラバス』に掲載された各種目の授業計画案はあくまでも目安です。
- ③玉川キャンパスでは、雨天等の指示など特別な連絡事項がある場合は、授業が行われる校舎の掲示板等で周知します。
- ④見学について
  - ・体調不良者は指導教員の許可を得て、授業を見学することができます。
  - ・やむを得ない事情により、長期にわたる運動制限を余儀なくされた場合、長期見学者扱いとします。授業の参加形態は指導教員と相談してください。
- ⑤服装について
  - ・服装および更衣室については、指導教員の指示に従ってください。
- ⑥事故・負傷・貴重品の管理について
  - ・実技の時間に事故発生又は負傷した場合、直ちに指導教員に報告し、指示を受けてください。
  - ・貴重品の管理は、各自で行い、貴重品ロッカーを利用するなど十分注意してください。

## 2. 開設科目一覧

必 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				受講 予約 科目	履修 不可 科目	本 年 度 休 講	注意事項
	科目数	単位数											
必 修	2 科目	4 単位	実 技	健康・スポーツ実習	2	通年	1						《玉川キャンパス》 《再クラス》 《種目・定員》 ・前期と後期で異なる種目を受講してください。 ・4月初回の授業で種目を決定しますので、必ず出席してください。服装は普段着で構いません。 ・複数担当教員がいる授業なので、自分の種目の担当教員名を把握しておいてください。
		講 義	保健理論	2	半期	1							

### 〔実技科目の開講種目〕

#### ◆「健康・スポーツ実習」の開講種目

金・1（医療健康科学部）	
種 目	屋外球技
	屋内球技

#### ◆「健康・スポーツ実習（再クラス）」について

※再クラスを履修する場合は、教務部窓口で相談してください。

## 専門教育科目

### 1. コース制

診療放射線技術科学科には診療技術科学コースと画像技術科学コースとがあります。前者は診療技術分野に重点を置いたコースであり、後者は画像技術分野に重点を置いたコースです。いずれのコースでも診療放射線技師国家試験の受験資格が得られますが、必修科目が異なってきます。自分の希望に合わせて、コースを選択してください。ただし、別コースの科目もほとんどが選択科目として履修可能です。

平成23（2011）年度以降入学生は、コースに分かれるのは3年次からです。1～2年次にコース選択のためのガイダンスを行い、各自の希望に基いて、2年次の3月下旬までに所属コースを決定します。

平成22（2010）年度以前入学生は、コースに分かれるのは2年次からです。1年次にコース選択のためのガイダンスを行い、各自の希望に基いて、2年次の4月上旬までに所属コースを決定します。

希望者数が予定人数を著しく上回るときは、人数を制限する場合があります。この場合は、成績や面接の結果などを参考にします。

### 2. 履修上の注意

#### 【全入学年度（全学生）対象】

- ★専門教育科目は、必修科目および選択科目に分かれ、定められた単位を修得しなければなりません。専門教育科目全般にわたって十分検討して履修することが必要です。
- ★定められた単位を超えて修得した選択科目の単位数は、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されません。履修時には十分注意してください。
- ★大学が定める進級基準とは別に、必修科目および選択必修科目の単位を修得できなかった場合、次の理由により4年間の在籍では卒業できなくなる可能性があるので十分注意してください。
  - ・入学年度によって異なる履修上の注意により、次年度必修科目が履修できないため。
  - ・再履修科目との重複で次年度必修科目が履修できなくなる場合があるため。

## 【平成26（2014）年度以降入学生】

- ①2年次の実験・基礎実習を履修するためには、教養教育科目の人文・社会分野と広域選択を除く1年次必修科目34単位（教養教育科目自然分野の選択必修科目2単位を含む）のうち、24単位以上を修得していなければなりません。
- ②3年次の「臨床医療人間学Ⅰ」と「臨床医療人間学Ⅱ」を履修するためには、卒業に必要な全学共通科目単位（30単位）と1・2年次専門必修科目単位（48単位）との合計78単位のうち、68単位以上（1年次の実験の単位全てと「画像検査技術学基礎実習」の単位を含むこと）を修得していなければなりません。
- ③3年次の実験・基礎実習を履修するためには、2年次の実験・基礎実習の履修条件（上記①）を満たすとともに、1年次の実験の単位を全て修得していなければなりません。
- ④4年次の「画像検査技術学実習」、「核医学検査技術学実習」及び「放射線治療技術学実習」（臨床実習）を履修するためには、「臨床医療人間学Ⅰ」の単位を修得していなければなりません。
- ⑤4年次の総合研究（※）と「放射線学総合演習」とを履修するためには、卒業に必要な全学共通科目単位（30単位）と1～3年次専門必修科目単位との合計単位（診療技術科学コースは107単位、画像技術科学コースは109単位）のうち、97単位以上（1・2年次の実験・基礎実習全ての単位を含むこと）を修得していなければなりません。

〈他学部からの転部生の場合〉

●他学部からの転部生の場合は、上記①・②にかかわらず、次の履修条件となります。

- ◇2年次の実験・基礎実習を履修するためには、卒業に必要な単位のうち14単位以上を修得していなければなりません。
- ◇3年次の「臨床医療人間学Ⅰ」と「臨床医療人間学Ⅱ」を履修するためには、卒業に必要な全学共通科目単位（30単位）と1・2年次専門必修科目単位（48単位）との合計78単位のうち、58単位以上（1年次の実験の単位全てと「画像検査技術学基礎実習」の単位を含むこと）を修得していなければなりません。

〈編入学生の場合〉

●編入学生の場合は、上記①～⑤にかかわらず、4年次の総合研究（※）についてのみ次の履修条件となります。

- ◇4年次の総合研究を履修するためには、卒業に必要な全学共通科目単位（30単位）と1～3年次専門必修科目単位との合計単位（診療技術科学コースは107単位、画像技術科学コースは109単位）のうち、85単位以上（1・2年次の実験・基礎実習全ての単位を含むこと）を修得していなければなりません。

※4年次の総合研究：「医療放射線科学総合研究」（診療技術科学コース）、あるいは「医療画像科学総合研究」（画像技術科学コース）

### 【平成23（2011）～25（2013）年度入学生】

- ①2年次の実験・基礎実習を履修するためには、教養教育科目の人文・社会分野と広域選択を除く1年次必修科目35単位（教養教育科目自然分野の選択必修科目2単位を含む）のうち、25単位以上を修得していなければなりません。
- ②3年次の臨床実習（※1）と「臨床医療人間学Ⅰ」、ならびに4年次の臨床実習（※2）を履修するためには、卒業に必要な全学共通科目単位（30単位）と1・2年次専門必修科目単位（48単位）との合計78単位のうち、68単位以上（1年次の実験の単位全てと「画像検査技術学基礎実習」の単位を含むこと）を修得していなければなりません。
- さらに、3年次と4年次の臨床実習を履修するためには、2年次の「診療画像技術学」、ならびに3年次の「臨床医療人間学Ⅰ」と「核医学」と「放射線治療技術学」とを履修する、あるいは既にその単位を修得している必要があります。
- ③3年次の実験・基礎実習を履修するためには、2年次の実験・基礎実習の履修条件（上記①）を満たすとともに、1年次の実験の単位を全て修得していなければなりません。
- ④4年次の総合研究（※3）と「放射線学総合演習」とを履修するためには、卒業に必要な全学共通科目単位（30単位）と1～3年次専門必修科目単位との合計単位（診療技術科学コースは110単位、画像技術科学コースは112単位）のうち、100単位以上（1・2年次の実験・基礎実習全てと3年次の臨床実習の単位を含むこと）を修得していなければなりません。
- さらに、4年次の総合研究を履修するためには、3年次の論文講読（※4）を履修する、あるいは既にその単位を修得している必要があります。

〈他学部からの転部生の場合〉

●他学部からの転部生の場合は、上記①・②にかかわらず、次の履修条件となります。

- ◇2年次の実験・基礎実習を履修するためには、卒業に必要な単位のうち14単位以上を修得していなければなりません。
- ◇3年次の臨床実習（※1）と「臨床医療人間学Ⅰ」、ならびに4年次の臨床実習（※2）を履修するためには、卒業に必要な全学共通科目単位（30単位）と1・2年次専門必修科目単位（48単位）との合計78単位のうち、58単位以上（1年次の実験の単位全てと「画像検査技術学基礎実習」の単位を含むこと）を修得していなければなりません。
- さらに、3年次と4年次の臨床実習を履修するためには、2年次の「診療画像技術学」、ならびに3年次の「臨床医療人間学Ⅰ」と「核医学」と「放射線治療技術学」とを履修する、あるいは既にその単位を修得している必要があります。

〈編入学生の場合〉

●編入学生の場合は、上記①～④にかかわらず、4年次の総合研究（※3）についてのみ次の履修条件となります。

- ◇4年次の総合研究を履修するためには、卒業に必要な全学共通科目単位（30単位）と1～3年次専門必修科目単位との合計単位（診療技術科学コースは110単位、画像技術科学コースは112単位）のうち、88単位以上（1・2年次の実験・基礎実習全てと3年次の臨床実習（※1）の単位を含むこと）を修得していなければなりません。
- さらに、3年次の論文講読（※4）を履修する、あるいは既にその単位を修得している必要があります。

※1 3年次の臨床実習：「画像検査技術学実習」

※2 4年次の臨床実習：「核医学検査技術学実習」と「放射線治療技術学実習」

※3 4年次の総合研究：「医療放射線科学総合研究」（診療技術科学コース）、あるいは「医療画像科学総合研究」（画像技術科学コース）

※4 3年次の論文講読：「医療放射線科学論文講読」（診療技術科学コース）、あるいは「医療画像科学論文講読」（画像技術科学コース）

## 【平成22（2010）年度以前入学生】

- ①2年次の実験・基礎実習を履修するためには、教養教育科目の人文・社会分野と広域選択を除く1年次必修科目35単位（教養教育科目自然分野の選択必修科目2単位を含む）のうち、25単位以上を修得していなければなりません。
- ②3年次の「画像検査技術学実習」と「臨床医療人間学Ⅰ」とを履修するためには、卒業に必要な全学共通科目単位（30単位）と1・2年次専門必修科目単位（46単位）との合計76単位のうち、66単位以上（1年次の実験の単位全と「画像検査技術学基礎実習」の単位を含むこと）を修得していなければなりません。
- ③3年次の実験・基礎実習を履修するためには、2年次の実験・基礎実習の履修条件（上記①）を満たすとともに、1年次の実験の単位を全て修得していなければなりません。
- ④4年次の実習と「臨床医療人間学Ⅱ」とを履修するためには、1・2年次の実験・基礎実習全と「画像検査技術学実習」の単位を修得していなければなりません。
- ⑤4年次の総合研究と「放射線学総合演習」とを履修するためには、卒業に必要な全学共通科目単位（30単位）と1～3年次専門必修科目単位との合計単位（診療技術科学コースは107単位、画像技術科学コースは108単位）のうち、97単位以上（1・2年次の実験・基礎実習全と「画像検査技術学実習」の単位を含むこと）を修得していなければなりません。

〈他学部からの転部生の場合〉

●他学部からの転部生の場合は、上記①・②にかかわらず、次の履修条件となります。

- ◇2年次の実験・基礎実習を履修するためには、卒業に必要な単位のうち14単位以上を修得していなければなりません。
- ◇3年次の「画像検査技術学実習」と「臨床医療人間学Ⅰ」とを履修するためには、卒業に必要な全学共通科目単位（30単位）と1・2年次専門必修科目単位（46単位）との合計76単位のうち、56単位以上（1年次の実験の単位全と「画像検査技術学基礎実習」の単位を含むこと）を修得していなければなりません。

〈編入学生の場合〉

●編入学生の場合は、上記①～⑤にかかわらず、4年次の総合研究についてのみ次の履修条件となります。

- ◇4年次の総合研究を履修するためには、卒業に必要な全学共通科目単位（30単位）と1～3年次専門必修科目単位との合計単位（診療技術科学コースは107単位、画像技術科学コースは108単位）のうち、89単位以上を修得していなければなりません。

### 3. 読替科目対象表

以下の科目は、新カリキュラム科目の単位を修得した場合、対応する旧カリキュラム科目の単位を修得したとみなします。成績表には、新カリキュラムと旧カリキュラムの科目名を記載します。なお、平成26（2014）年度までに、旧カリキュラム科目の単位を修得済みの場合、新カリキュラム科目を新たに履修する必要はありません。

対象入学年度：平成25（2013）年度以前入学生

読替後の科目名 (新カリキュラム)	単位	読替前の科目名 (旧カリキュラム)	単位	読替後の科目名 (新カリキュラム)	単位	読替前の科目名 (旧カリキュラム)	単位
放射線物理学Ⅰ	1	放射線物理学	2	放射化学Ⅰ	1	放射化学	2
放射線物理学Ⅱ	1			放射化学Ⅱ	1		
応用数学A	1	応用数学	2	放射線計測学Ⅰ	1	放射線計測学	2
応用数学B	1			放射線計測学Ⅱ	1		
電子工学Ⅰ	1	電子工学	2	診療画像技術学Ⅰ	2	診療画像技術学	4
電子工学Ⅱ	1			診療画像技術学Ⅱ	2		
原子核物理学Ⅰ	1	原子核物理学	2	放射線機器工学Ⅰ	1	放射線機器工学	2
原子核物理学Ⅱ	1			放射線機器工学Ⅱ	1		



#### 4. 開設科目一覽

対象入学年度：平成26（2014）年度以降入学生

##### A. 【診療技術科学コース】

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数									
必 修	70 科目	93 単位	解剖学	2	半期	1					
			環境保健医学	1	半期	1					
			電気工学 I	1	半期	1					
			放射線物理学 I	1	半期	1					
			放射線物理学 II	1	半期	1					
			診療画像技術学概論	2	半期	1					
			放射線機器概論	1	半期	1					
			画像工学概論 I	2	半期	1					
			診療画像技術学実験	1	通年	1					
			医用物理学実験	1	通年	1					
			医用化学実験	1	通年	1					
			電気工学 II	1	半期	2					
			医学概論	2	半期	2					
			臨床医学概論	2	半期	2					
			生理学	1	半期	2					
			病理学	2	半期	2					
			生化学	1	半期	2					
			応用数学 A	1	半期	2					
			応用数学 B	1	半期	2					
			電子工学 I	1	半期	2					
			電子工学 II	1	半期	2					
			原子核物理学 I	1	半期	2					
			原子核物理学 II	1	半期	2					
			放射化学 I	1	半期	2					
			放射化学 II	1	半期	2					
			放射線生物学	1	半期	2					
			放射線計測学 I	1	半期	2					
			放射線計測学 II	1	半期	2					
			診療画像技術学 I	2	半期	2					
			診療画像技術学 II	2	半期	2					
			放射線機器工学 I	1	半期	2					
			放射線機器工学 II	1	半期	2					
			画像工学概論 II	2	半期	2					
			画像工学概論 III	1	半期	2					
			画像検査技術学基礎実習	1	通年	2					
			電気電子工学実験	1	通年	2					
放射線機器工学実験	1	通年	2								
放射線関係法規	2	半期	2								
画像解剖学	1	半期	3								
画像診断技術学 I	1	半期	3								
放射線医学概論	1	半期	3								
医学英語	1	半期	3								
医用検査学	1	半期	3								
診療画像情報学 I	1	半期	3								

対象入学年度：平成26（2014）年度以降入学生

A. 【診療技術科学コース】

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数									
必修	70科目	93単位	画像診断機器工学	2	半期			3			
			救急医療学	1	半期			3			
			臨床医療人間学Ⅰ	1	半期			3			
			核医学Ⅰ	2	半期			3			
			核医学Ⅱ	2	半期			3			
			応用計測学	2	半期			3			
			放射線腫瘍学	2	半期			3			
			応用機器工学	1	半期			3			
			放射線管理学	1	半期			3			
			技術英語	1	半期			3			
			画像工学実験	1	通年			3			
			放射線治療技術学実験	1	通年			3			
			放射線管理学実験	1	通年			3			《学生番号指定》
			核医学検査技術学基礎実習	1	通年			3			
			放射線治療技術学	2	半期			3			
			医療放射線科学論文講読	1	半期			3			
			臨床医療人間学Ⅱ	1	半期			3			
			画像診断技術学Ⅱ	1	半期					4	
			線量計測工学	1	半期					4	
			診療画像情報学Ⅱ	1	半期					4	
画像と放射線治療	1	半期					4				
放射線学総合演習	2	半期					4	・2時限通し			
医療放射線科学総合研究	2	通年					4				
画像検査技術学実習	4	半期					4	臨床実習：履修前年度1～3月に実施。 【授業時間表】は特5で表示しています。			
核医学検査技術学実習	2	半期					4	臨床実習：履修前年度1～3月に実施。 【授業時間表】は特6で表示しています。			
放射線治療技術学実習	2	半期					4	臨床実習：履修前年度1～3月に実施。 【授業時間表】は特7で表示しています。			
選択	11単位以上		画像処理概論	1	半期	1					《学生番号指定》 ・1年次に全員履修することが望ましい。
			計算機言語論Ⅰ	2	半期		2				
			計算機言語論Ⅱ	1	半期		2				
			医療統計学	2	半期		2				
			画像工学Ⅰ	1	半期			3			
			画像工学Ⅱ	1	半期			3			
			医療宗教学	2	半期			3			
			医療経済学	2	半期			3			
			量子論	2	半期			3			
			画像処理工学	1	半期				4		
			画像伝送論	1	半期				4		
			医学特論	2	半期				4		
			最新医療科学	2	半期				4		
			放射線感光化学	2	半期				4	休	
			放射線化学特論	2	半期				4		
			放射化学特論	2	半期				4		
	放射線被曝管理論	2	半期				4				

対象入学年度：平成26（2014）年度以降入学生

B.【画像技術科学コース】

必 ・ 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項
	科目 数	単位 数									
必修	70 科目	93 単位	解剖学	2	半期	1					
			環境保健医学	1	半期	1					
			電気工学 I	1	半期	1					
			放射線物理学 I	1	半期	1					
			放射線物理学 II	1	半期	1					
			診療画像技術学概論	2	半期	1					
			放射線機器概論	1	半期	1					
			画像工学概論 I	2	半期	1					
			診療画像技術学実験	1	通年	1					
			医用物理学実験	1	通年	1					《学生番号指定》
			医用化学実験	1	通年	1					
			電気工学 II	1	半期		2				
			医学概論	2	半期		2				
			臨床医学概論	2	半期		2				
			生理学	1	半期		2				
			病理学	2	半期		2				
			生化学	1	半期		2				
			応用数学 A	1	半期		2				
			応用数学 B	1	半期		2				
			電子工学 I	1	半期		2				
			電子工学 II	1	半期		2				
			原子核物理学 I	1	半期		2				
			原子核物理学 II	1	半期		2				
			放射化学 I	1	半期		2				
			放射化学 II	1	半期		2				
			放射線生物学	1	半期		2				
			放射線計測学 I	1	半期		2				
			放射線計測学 II	1	半期		2				
			診療画像技術学 I	2	半期		2				
			診療画像技術学 II	2	半期		2				
			放射線機器工学 I	1	半期		2				
			放射線機器工学 II	1	半期		2				
			画像工学概論 II	2	半期		2				
			画像工学概論 III	1	半期		2				
画像検査技術学基礎実習	1	通年		2							
電気電子工学実験	1	通年		2				《学生番号指定》			
放射線機器工学実験	1	通年		2							
放射線関係法規	2	半期		2							
画像解剖学	1	半期			3						
放射線医学概論	1	半期			3						
医学英語	1	半期			3						
医用検査学	1	半期			3						
診療画像情報学 I	1	半期			3						
画像診断機器工学	2	半期			3						
臨床医療人間学 I	1	半期			3						

対象入学年度：平成26（2014）年度以降入学生

B.【画像技術科学コース】

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数										
必修	70科目	93単位	核医学Ⅰ	2	半期			3				
			核医学Ⅱ	2	半期			3				
			応用計測学	2	半期			3				
			放射線腫瘍学	2	半期			3				
			応用機器工学	1	半期			3				
			画像工学Ⅰ	1	半期			3				
			画像工学Ⅱ	1	半期			3				
			画像処理言語論Ⅰ	1	半期			3				
			放射線管理学	1	半期			3				
			技術英語	1	半期			3				
			画像工学実験	1	通年			3				
			放射線治療技術学実験	1	通年			3			《学生番号指定》	
			放射線管理学実験	1	通年			3				
			核医学検査技術学基礎実習	1	通年			3				
			放射線治療技術学	2	半期			3				
			画像処理言語論Ⅱ	1	半期			3				
			医療画像科学論文講読	1	半期			3				
			臨床医療人間学Ⅱ	1	半期			3				
			画像処理工学	1	半期					4		
			画像伝送論	1	半期					4		
放射線学総合演習	2	半期					4		・2時限通し			
医療画像科学総合研究	2	通年					4					
画像検査技術学実習	4	半期					4		臨床実習：履修前年度1～3月に実施。 【授業時間表】は特5で表示しています。			
核医学検査技術学実習	2	半期					4		臨床実習：履修前年度1～3月に実施。 【授業時間表】は特6で表示しています。			
放射線治療技術学実習	2	半期					4		臨床実習：履修前年度1～3月に実施。 【授業時間表】は特7で表示しています。			
選択	11単位以上		画像処理概論	1	半期	1					《学生番号指定》 ・1年次に全員履修することが望ましい。	
			計算機言語論Ⅰ	2	半期		2					
			計算機言語論Ⅱ	1	半期		2					
			医療統計学	2	半期		2					
			画像診断技術学Ⅰ	1	半期			3				
			救急医療学	1	半期			3				
			医療宗教学	2	半期			3				
			医療経済学	2	半期			3				
			量子論	2	半期			3				
			画像診断技術学Ⅱ	1	半期			4				
			線量計測工学	1	半期			4				
			診療画像情報学Ⅱ	1	半期			4				
			画像と放射線治療	1	半期			4				
			医学特論	2	半期			4				
			最新医療科学	2	半期			4				
			放射線感光化学	2	半期			4		休		
	放射線化学特論	2	半期			4						
	放射化学特論	2	半期			4						
	放射線被曝管理論	2	半期			4						

対象入学年度：平成23（2011）～25（2013）年度入学生

A. 【診療技術科学コース】

必 ・ 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項
	科目 数	単位 数									
必 修	68 科目	93 単位	解剖学	2	半期	1					
			環境保健医学	1	半期	1					
			電気工学	2	通年	1				休	
			放射線物理学Ⅰ	1	半期	1				有	・ 読替科目対象
			放射線物理学Ⅱ	1	半期	1				有	
			診療画像技術学概論	2	半期	1					
			放射線機器概論	1	半期	1					
			画像工学概論Ⅰ	2	半期	1					
			診療画像技術学実験	1	通年	1					
			医用物理学実験	1	通年	1					《学生番号指定》
			医用化学実験	1	通年	1					
			医学概論	2	半期		2				
			臨床医学概論	2	半期		2				
			生理学	1	半期		2				
			病理学	2	半期		2				
			生化学	1	半期		2				
			応用数学A	1	半期		2			有	・ 読替科目対象
			応用数学B	1	半期		2			有	
			電子工学Ⅰ	1	半期		2			有	・ 読替科目対象
			電子工学Ⅱ	1	半期		2			有	
			原子核物理学Ⅰ	1	半期		2			有	・ 読替科目対象
			原子核物理学Ⅱ	1	半期		2			有	
			放射化学Ⅰ	1	半期		2			有	・ 読替科目対象
			放射化学Ⅱ	1	半期		2			有	
			放射線生物学	1	半期		2				
			放射線計測学Ⅰ	1	半期		2			有	・ 読替科目対象
			放射線計測学Ⅱ	1	半期		2			有	
			診療画像技術学Ⅰ	2	半期		2			有	・ 読替科目対象
			診療画像技術学Ⅱ	2	半期		2			有	
			放射線機器工学Ⅰ	1	半期		2			有	・ 読替科目対象
			放射線機器工学Ⅱ	1	半期		2			有	
			画像工学概論Ⅱ	2	半期		2				
			画像工学概論Ⅲ	1	半期		2				
			画像検査技術学基礎実習	1	通年		2				《学生番号指定》
電気電子工学実験	1	通年		2							
放射線機器工学実験	1	通年		2							
放射線関係法規	2	半期		2							
画像解剖学	1	半期			3						
画像診断技術学Ⅰ	1	半期			3						
放射線医学概論	1	半期			3						
医学英語	1	半期			3						
医用検査学	1	半期			3						
診療画像情報学Ⅰ	1	半期			3						

対象入学年度：平成23（2011）～25（2013）年度入学生

A. 【診療技術科学コース】

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数									
必修	68科目	93単位	画像診断機器工学	2	半期		3				
			救急医療学	1	半期		3				
			臨床医療人間学Ⅰ	1	半期		3				
			核医学	4	通年		3		有		平成28年度からは「核医学Ⅰ」「核医学Ⅱ」を履修することでこの科目に読み替えて単位認定されます。
			応用計測学	2	半期		3				
			放射線腫瘍学	2	半期		3				
			応用機器工学	1	半期		3				
			放射線管理学	1	半期		3				
			技術英語	1	半期		3				
			画像工学実験	1	通年		3				
			放射線治療技術学実験	1	通年		3				《学生番号指定》
			放射線管理学実験	1	通年		3				
			核医学検査技術学基礎実習	1	通年		3				
			画像検査技術学実習	4	半期		3				臨床実習：1～3月に実施。 【授業時間表】は特5で表示しています。
			放射線治療技術学	2	半期		3				
			医療放射線科学論文講読	1	半期		3				
			画像診断技術学Ⅱ	1	半期		4				
			線量計測工学	1	半期		4				
			診療画像情報学Ⅱ	1	半期		4				
			臨床医療人間学Ⅱ	1	半期		4				
			画像と放射線治療	1	半期		4				
放射線学総合演習	2	半期		4				・2時限通し			
医療放射線科学総合研究	2	通年		4							
核医学検査技術学実習	2	半期		4				臨床実習：履修前年度1～3月に実施。 【授業時間表】は特6で表示しています。			
放射線治療技術学実習	2	半期		4				臨床実習：履修前年度1～3月に実施。 【授業時間表】は特7で表示しています。			
選択	11単位以上		画像処理概論	1	半期	1					《学生番号指定》 ・1年次に全員履修することが望ましい。
			計算機言語論Ⅰ	2	半期		2				
			計算機言語論Ⅱ	1	半期		2				
			医療統計学	2	半期		2				
			画像工学Ⅰ	1	半期		3				
			画像工学Ⅱ	1	半期		3				
			医療宗教学	2	半期		3				
			医療経済学	2	半期		3				
			量子論	2	半期		3				
			画像処理工学	1	半期		4				
			画像伝送論	1	半期		4				
			医学特論	2	半期		4				
			最新医療科学	2	半期		4				
			放射線感光化学	2	半期		4			休	
			放射線化学特論	2	半期		4				
	放射化学特論	2	半期		4						
	放射線被曝管理論	2	半期		4						

対象入学年度：平成23（2011）～25（2013）年度入学生

B.【画像技術科学コース】

必 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数									
必 修	68 科目	93 単位	解剖学	2	半期	1					
			環境保健医学	1	半期	1					
			電気工学	2	通年	1				休	
			放射線物理学Ⅰ	1	半期	1				有	・読替科目対象
			放射線物理学Ⅱ	1	半期	1				有	
			診療画像技術学概論	2	半期	1					
			放射線機器概論	1	半期	1					
			画像工学概論Ⅰ	2	半期	1					
			診療画像技術学実験	1	通年	1					《学生番号指定》
			医用物理学実験	1	通年	1					
			医用化学実験	1	通年	1					
			医学概論	2	半期	2					
			臨床医学概論	2	半期	2					
			生理学	1	半期	2					
			病理学	2	半期	2					
			生化学	1	半期	2					
			応用数学A	1	半期	2				有	・読替科目対象
			応用数学B	1	半期	2				有	
			電子工学Ⅰ	1	半期	2				有	・読替科目対象
			電子工学Ⅱ	1	半期	2				有	
			原子核物理学Ⅰ	1	半期	2				有	・読替科目対象
			原子核物理学Ⅱ	1	半期	2				有	
			放射化学Ⅰ	1	半期	2				有	・読替科目対象
			放射化学Ⅱ	1	半期	2				有	
			放射線生物学	1	半期	2					
			放射線計測学Ⅰ	1	半期	2				有	・読替科目対象
			放射線計測学Ⅱ	1	半期	2				有	
			診療画像技術学Ⅰ	2	半期	2				有	・読替科目対象
			診療画像技術学Ⅱ	2	半期	2				有	
			放射線機器工学Ⅰ	1	半期	2				有	・読替科目対象
			放射線機器工学Ⅱ	1	半期	2				有	
			画像工学概論Ⅱ	2	半期	2					
			画像工学概論Ⅲ	1	半期	2					
			画像検査技術学基礎実習	1	通年	2					《学生番号指定》
電気電子工学実験	1	通年	2								
放射線機器工学実験	1	通年	2								
放射線関係法規	2	半期	2								
画像解剖学	1	半期		3							
放射線医学概論	1	半期		3							
医学英語	1	半期		3							
医用検査学	1	半期		3							
診療画像情報学Ⅰ	1	半期		3							
画像診断機器工学	2	半期		3							
臨床医療人間学Ⅰ	1	半期		3							
核医学	4	通年		3			有	平成28年度からは「核医学Ⅰ」「核医学Ⅱ」を履修することでこの科目に読み替えて単位認定されます。			



対象入学年度：平成23（2011）～25（2013）年度入学生

B.【画像技術科学コース】

必 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数										
必 修	68 科目	93 単位	応用計測学	2	半期			3				
			放射線腫瘍学	2	半期			3				
			応用機器工学	1	半期			3				
			画像工学Ⅰ	1	半期			3				
			画像工学Ⅱ	1	半期			3				
			画像処理言語論Ⅰ	1	半期			3				
			放射線管理学	1	半期			3				
			技術英語	1	半期			3				
			画像工学実験	1	通年			3				
			放射線治療技術学実験	1	通年			3			《学生番号指定》	
			放射線管理学実験	1	通年			3				
			核医学検査技術学基礎実習	1	通年			3				
			画像検査技術学実習	4	半期			3				臨床実習：1～3月に実施。 『授業時間表』は特5で表示しています。
			放射線治療技術学	2	半期			3				
			画像処理言語論Ⅱ	1	半期			3				
			医療画像科学論文講読	1	半期			3				
			臨床医療人間学Ⅱ	1	半期					4		
			画像処理工学	1	半期					4		
			画像伝送論	1	半期					4		
			放射線学総合演習	2	半期					4		・2時限通し
医療画像科学総合研究	2	通年					4					
核医学検査技術学実習	2	半期					4		臨床実習：履修前年度1～3月に実施。 『授業時間表』は特6で表示しています。			
放射線治療技術学実習	2	半期					4		臨床実習：履修前年度1～3月に実施。 『授業時間表』は特7で表示しています。			
選 択	11 単位以上	画像処理概論	1	半期	1						《学生番号指定》 ・1年次に全員履修することが望ましい。	
		計算機言語論Ⅰ	2	半期		2						
		計算機言語論Ⅱ	1	半期		2						
		医療統計学	2	半期		2						
		画像診断技術学Ⅰ	1	半期			3					
		救急医療学	1	半期			3					
		医療宗教学	2	半期			3					
		医療経済学	2	半期			3					
		量子論	2	半期			3					
		画像診断技術学Ⅱ	1	半期				4				
		線量計測工学	1	半期				4				
		診療画像情報学Ⅱ	1	半期				4				
		画像と放射線治療	1	半期				4				
		医学特論	2	半期				4				
		最新医療科学	2	半期				4				
		放射線感光化学	2	半期				4		休		
		放射線化学特論	2	半期				4				
放射化学特論	2	半期				4						
放射線被曝管理論	2	半期				4						

対象入学年度：平成22（2010）年度以前入学生

A. 【診療技術科学コース】

必 ・ 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数									
必修	68 科目	93 単位	解剖学	2	半期	1					
			環境保健医学	1	半期	1					
			電気工学	2	通年	1				休	
			放射線物理学Ⅰ	1	半期	1				有	・読替科目対象
			放射線物理学Ⅱ	1	半期	1				有	
			診療画像技術学概論	2	半期	1					
			放射線機器概論	1	半期	1					
			画像工学概論Ⅰ	2	半期	1					
			診療画像技術学実験	1	通年	1					
			医用物理学実験	1	通年	1					
			医用化学実験	1	通年	1					
			医学概論	2	半期		2				
			臨床医学概論	2	半期		2				
			生理学	1	半期		2				
			病理学	2	半期		2				
			生化学	1	半期		2				
			応用数学A	1	半期		2			有	・読替科目対象
			応用数学B	1	半期		2			有	
			電子工学Ⅰ	1	半期		2			有	・読替科目対象
			電子工学Ⅱ	1	半期		2			有	
			原子核物理学Ⅰ	1	半期		2			有	・読替科目対象
			原子核物理学Ⅱ	1	半期		2			有	
			放射化学Ⅰ	1	半期		2			有	・読替科目対象
			放射化学Ⅱ	1	半期		2			有	
			放射線生物学	1	半期		2				
			放射線計測学Ⅰ	1	半期		2			有	・読替科目対象
			放射線計測学Ⅱ	1	半期		2			有	
			診療画像技術学Ⅰ	2	半期		2			有	・読替科目対象
			診療画像技術学Ⅱ	2	半期		2			有	
			放射線機器工学Ⅰ	1	半期		2			有	・読替科目対象
			放射線機器工学Ⅱ	1	半期		2			有	
			画像工学概論Ⅱ	2	半期		2				
			医用画像工学	1	半期		2				
			画像検査技術学基礎実習	1	通年		2				
電気電子工学実験	1	通年		2							
放射線機器工学実験	1	通年		2							
画像解剖学	1	半期			3						
画像診断技術学Ⅰ	1	半期			3						
放射線医学概論	1	半期			3						
医学英語	1	半期			3						
医用検査学	1	半期			3						
診療画像情報学Ⅰ	1	半期			3						
画像診断機器工学	2	半期			3						
救急医療学	1	半期			3						

対象入学年度：平成22（2010）年度以前入学生

A. 【診療技術科学コース】

必 ・ 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数										
必 修	68 科目	93 単位	臨床医療人間学Ⅰ	1	半期			3				
			核医学	4	通年			3	有		平成28年度からは「核医学Ⅰ」「核医学Ⅱ」を履修することでこの科目に読み替えて単位認定されます。	
			応用計測学	2	半期			3				
			放射線腫瘍学	2	半期			3				
			応用機器工学	1	半期			3				
			放射線関係法規	2	半期			3				
			放射線管理学	1	半期			3				
			技術英語	1	半期			3				
			画像工学実験	1	通年			3				
			放射線治療技術学実験	1	通年			3				
			放射線管理学実験	1	通年			3				
			核医学検査技術学基礎実習	1	通年			3				
			画像検査技術学実習	4	半期			3				臨床実習：1～3月に実施。 【授業時間表】は特5で表示しています。
			画像診断技術学Ⅱ	1	半期			4				
			線量計測工学	1	半期			4				
			診療画像情報学Ⅱ	1	半期			4				
			臨床医療人間学Ⅱ	1	半期			4				
			放射線治療技術学	2	半期			4				
			画像と放射線治療	1	半期			4				
			放射線学総合演習	2	半期			4				・2時限通し
医療放射線科学論文講読	1	半期			4							
医療放射線科学総合研究	2	通年			4							
核医学検査技術学実習	2	半期			4				臨床実習：履修前年度1～3月に実施。 【授業時間表】は特6で表示しています。			
放射線治療技術学実習	2	半期			4				臨床実習：履修前年度1～3月に実施。 【授業時間表】は特7で表示しています。			
選 択	11 単位以上	画像数学	1	半期		2						
		画像工学Ⅰ	1	半期			3					
		画像工学Ⅱ	1	半期			3					
		計算機言語論	2	半期			3					
		医療宗教学	2	半期			3					
		医療経済学	2	半期			3					
		医療統計学	2	半期			3					
		量子論	2	半期			3					
		画像構築論Ⅰ	1	半期			4					
		画像伝送論	1	半期			4					
		医学特論	2	半期			4					
		放射線検出器工学	2	半期			4			休		
		放射線感光化学	2	半期			4			休		
		放射線化学特論	2	半期			4					
		放射化学特論	2	半期			4					
		放射線学特論	2	半期			4			休		
		診療機器システム学	2	半期			4			休		
画像構築論Ⅱ	2	半期			4			休				
放射線被曝管理論	2	半期			4							

対象入学年度：平成22（2010）年度以前入学生

B.【画像技術科学コース】

必 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			履修 不可 科目	本年度休 講	注意事項
	科目 数	単位 数									
必 修	68 科目	93 単位	解剖学	2	半期	1					
			環境保健医学	1	半期	1					
			電気工学	2	通年	1				休	
			放射線物理学Ⅰ	1	半期	1				有	・読替科目対象
			放射線物理学Ⅱ	1	半期	1				有	
			診療画像技術学概論	2	半期	1					
			放射線機器概論	1	半期	1					
			画像工学概論Ⅰ	2	半期	1					
			診療画像技術学実験	1	通年	1					
			医用物理学実験	1	通年	1					
			医用化学実験	1	通年	1					
			医学概論	2	半期		2				
			臨床医学概論	2	半期		2				
			生理学	1	半期		2				
			病理学	2	半期		2				
			生化学	1	半期		2				
			応用数学A	1	半期		2			有	・読替科目対象
			応用数学B	1	半期		2			有	
			電子工学Ⅰ	1	半期		2			有	・読替科目対象
			電子工学Ⅱ	1	半期		2			有	
			原子核物理学Ⅰ	1	半期		2			有	・読替科目対象
			原子核物理学Ⅱ	1	半期		2			有	
			放射化学Ⅰ	1	半期		2			有	・読替科目対象
			放射化学Ⅱ	1	半期		2			有	
			放射線生物学	1	半期		2				
			放射線計測学Ⅰ	1	半期		2			有	・読替科目対象
			放射線計測学Ⅱ	1	半期		2			有	
			診療画像技術学Ⅰ	2	半期		2			有	・読替科目対象
			診療画像技術学Ⅱ	2	半期		2			有	
			放射線機器工学Ⅰ	1	半期		2			有	・読替科目対象
			放射線機器工学Ⅱ	1	半期		2			有	
			画像工学概論Ⅱ	2	半期		2				
			画像数学	1	半期		2				
画像検査技術学基礎実習	1	通年		2							
電気電子工学実験	1	通年		2							
放射線機器工学実験	1	通年		2							
画像解剖学	1	半期			3						
放射線医学概論	1	半期			3						
医学英語	1	半期			3						
医用検査学	1	半期			3						
診療画像情報学Ⅰ	1	半期			3						
画像診断機器工学	2	半期			3						
臨床医療人間学Ⅰ	1	半期			3						
核医学	4	通年			3		有	平成28年度からは「核医学Ⅰ」「核医学Ⅱ」を履修することでこの科目に読み替えて単位認定されます。			

対象入学年度：平成22（2010）年度以前入学生

B.【画像技術科学コース】

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数									
必	68	93	応用計測学	2	半期			3			
			放射線腫瘍学	2	半期			3			
			応用機器工学	1	半期			3			
			画像工学 I	1	半期			3			
			画像工学 II	1	半期			3			
			画像処理言語論	1	半期			3			
			放射線関係法規	2	半期			3			
			放射線管理学	1	半期			3			
			技術英語	1	半期			3			
			画像工学実験	1	通年			3			
			放射線治療技術学実験	1	通年			3			
			放射線管理学実験	1	通年			3			
			核医学検査技術学基礎実習	1	通年			3			
			画像検査技術学実習	4	半期			3			臨床実習：1～3月に実施。 【授業時間表】は特5で表示しています。
			臨床医療人間学 II	1	半期			4			
			放射線治療技術学	2	半期			4			
			画像処理論	1	半期			4			
			画像構築論 I	1	半期			4			
			画像伝送論	1	半期			4			
放射線学総合演習	2	半期			4			・2時限通し			
医療画像科学論文講読	1	半期			4						
医療画像科学総合研究	2	通年			4						
核医学検査技術学実習	2	半期			4			臨床実習：履修前年度1～3月に実施。 【授業時間表】は特6で表示しています。			
放射線治療技術学実習	2	半期			4			臨床実習：履修前年度1～3月に実施。 【授業時間表】は特7で表示しています。			
選	11	以上	画像診断技術学 I	1	半期			3			
			救急医療学	1	半期			3			
			計算機言語論	2	半期			3			
			医療宗教学	2	半期			3			
			医療経済学	2	半期			3			
			医療統計学	2	半期			3			
			量子論	2	半期			3			
			画像診断技術学 II	1	半期			4			
			線量計測工学	1	半期			4			
			診療画像情報学 II	1	半期			4			
			画像と放射線治療	1	半期			4			
			医学特論	2	半期			4			
			放射線検出器工学	2	半期			4		休	
			放射線感光化学	2	半期			4		休	
			放射線化学特論	2	半期			4			
			放射化学特論	2	半期			4			
			放射線学特論	2	半期			4		休	
			診療機器システム学	2	半期			4		休	
			画像構築論 II	2	半期			4		休	
放射線被曝管理論	2	半期			4						

専門教育科目  
第2章

#### 4. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、対応する現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	開講年度	旧科目名	適用年度
放射線物理学Ⅰ	平成26(2014)年度	放射線物理学	平成25(2013)年度以前
放射線物理学Ⅱ			
応用数学A	平成27(2015)年度	応用数学	平成26(2014)年度以前
応用数学B		電子工学	
電子工学Ⅰ		原子核物理学	
電子工学Ⅱ		放射化学	
原子核物理学Ⅰ		放射線計測学	
原子核物理学Ⅱ		診療画像技術学	
放射化学Ⅰ		放射線機器工学	
放射化学Ⅱ			
放射線計測学Ⅰ			
放射線計測学Ⅱ			
診療画像技術学Ⅰ			
診療画像技術学Ⅱ			
放射線機器工学Ⅰ	平成28(2016)年度	核医学	平成27(2015)年度以前
放射線機器工学Ⅱ			
核医学Ⅰ			
核医学Ⅱ			

#### 5. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度
最新医療技術	平成26(2014)年度以降

#### 6. 診療放射線技師国家試験受験資格について

##### ① 診療放射線技師の免許

免許取得は毎年厚生労働大臣の行う試験に合格しなければなりません。

##### ② 受験資格

診療放射線技術科学科において卒業に必要な単位を修得しなければなりません。

## 随意科目

### 1. 履修上の注意

随意科目として修得した科目の単位は、卒業に必要な単位に含まれません。

### 2. 開設科目一覧

科目名	単位	開講期	配当年次				履修上の注意事項
英語（海外演習）	2		1	2	3	4	・海外協定校で行われる短期語学セミナーです。詳細については、国際センターが配布する各セミナーのパンフレットを参照してください。（パンフレットは募集時期に配布されます）
フランス語（海外演習）	2		1	2	3		
中国語（海外演習）	2		1	2	3	4	
スペイン語（海外演習）	2		1	2	3		

## 「日本語」・「日本事情」科目

### 1. 履修上の注意

#### (1) 「日本語」科目の履修方法

- ① 「日本語」科目は『外国人留学生』および日本語を母語としない『帰国生』を対象とする随意科目です。
- ② 原則として1・2年次において履修してください。
- ③ 当該科目の履修を希望する者は履修登録申込期間に履修登録を行ってください。

#### (2) 「日本事情」科目の履修方法

- ① 「日本事情」科目は『外国人留学生』および日本語を母語としない『帰国生』を対象とする随意科目です。
- ② 当該科目の履修を希望する者は履修登録申込期間に履修登録を行ってください。

### 2. 開設科目一覧

#### <日本語科目>

科目名	単位	開講期	配当年次				履修上の注意事項
日本語入門Ⅰa	1	半期	1	2			・以下のいずれかに該当しなければ履修できません。 ①交換留学生 ②非漢字圏の学生
日本語入門Ⅰb	1	半期	1	2			
日本語入門Ⅱa	1	半期	1	2			
日本語入門Ⅱb	1	半期	1	2			
日本語Ⅰa	1	半期	1	2			・当該科目の「a」・「b」は、セットで履修することが望ましい。
日本語Ⅰb	1	半期	1	2			
日本語Ⅱa	1	半期	1	2			
日本語Ⅱb	1	半期	1	2			
日本語Ⅲa	1	半期	1	2			
日本語Ⅲb	1	半期	1	2			
日本語Ⅳa	1	半期	1	2			
日本語Ⅳb	1	半期	1	2			
日本語Ⅴa	1	半期	1	2			
日本語Ⅴb	1	半期	1	2			
日本語Ⅵa	1	半期	1	2			
日本語Ⅵb	1	半期	1	2			

#### <日本事情科目>

科目名	単位	開講期	配当年次				履修上の注意事項
日本事情Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	(地理)について学びます。
日本事情Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	(自然)について学びます。
日本事情Ⅲ	2	半期	1	2	3	4	(歴史)について学びます。
日本事情Ⅳ	2	半期	1	2	3	4	(思想)について学びます。
日本事情Ⅴ	2	半期	1	2	3	4	(社会)について学びます。
日本事情Ⅵ	2	半期	1	2	3	4	(政治・法律)について学びます。
日本事情Ⅶ	2	半期	1	2	3	4	(文学)について学びます。
日本事情Ⅷ	2	半期	1	2	3	4	(文化・芸術)について学びます。
日本事情Ⅸ	2	半期	1	2	3	4	(経済)について学びます。
日本事情Ⅹ	2	半期	1	2	3	4	(経営)について学びます。



## Ⅲ 資格講座

### 1. 受講可能な資格

医療健康科学部で履修可能な資格講座は、以下のとおりです。

資格取得のためには、卒業必要科目以外に資格講座に関する専門科目を履修し、単位を修得する必要があります。

講座名	内容
社会福祉主事講座	社会福祉の行政機関において、保護や援助を必要とする人々の相談、指導、援助を行う専門職である「社会福祉主事」の任用資格を取得できます。

### 2. 資格講座の登録

講座は登録制をとっています。登録には以下の手続きが必要です。

#### 資格講座の登録（1年次後期：11月頃）

◎日程は KONECO にて配信するとともに、教務部第1掲示板の教職課程・資格講座面に掲示します。  
期間内に手続きがない場合、資格講座の登録と履修はできません。



2年次4月より資格講座科目履修開始

※新2年生以上でまだ資格講座の登録をしていない場合は、詳細は教務部2番窓口（教職係）で確認してください。

※1年次で履修できる関連科目はありません。2年次以降計画的に履修してください。

## IV 学修支援

### 学業不振者への勧告

4年間で卒業するには、各年次に計画的に科目を履修し単位を修得していくことが理想とされます。正当な理由なく成績不振に陥り、修得単位数が著しく少ない学生には、学業を督励するために、保証人宛成績表送付時に単位修得状況に応じたメッセージが記載されます。

#### ●勧告対象基準

・平成26年（2014）度以降入学生

年次	勧告対象基準
1年次	修得単位数の合計が29単位以下または英語 I A a・I A bまたは同 I B a・I B b未修得
	卒業に必要な単位数に111単位以上不足
2年次	卒業に必要な単位数に67単位以上不足
3年次	卒業に必要な単位数に38単位以上不足
4年次	卒業に必要な単位数に1単位以上不足

・平成23年（2011）～25（2013）年度入学生

年次	勧告対象基準
1年次	修得単位数の合計が29単位以下または英語 I Aまたは同 I B未修得
	卒業に必要な単位数に110単位以上不足
2年次	卒業に必要な単位数に67単位以上不足
3年次	卒業に必要な単位数に35単位以上不足
4年次	卒業に必要な単位数に1単位以上不足

・平成22（2010）年度以前入学生

年次	勧告対象基準
1年次	修得単位数の合計が29単位以下または英語 I Aまたは同 I B未修得
	卒業に必要な単位数に110単位以上不足
2年次	卒業に必要な単位数に69単位以上不足
3年次	卒業に必要な単位数に38単位以上不足
4年次	卒業に必要な単位数に1単位以上不足

### オフィスアワーについて

オフィス・アワーとは、教員が学業や生活に関する相談を受けるために研究室等に待機している時間帯のことです。オフィス・アワーの時間帯が決まり次第、KONECO 等に掲示を行います。

## V キャリア形成

### 大学院進学

#### ①特徴ある修士課程4コースと博士後期課程2コース

診療放射線学専攻の教育理念と目的は、診療放射線学に関する高度な研究能力を有し、かつ医学的情報に基づく適正な医療画像処理能力や画像検査遂行能力、放射線機器の線束管理・放射線管理・治療線量管理能力を備えた専門家を養成することである。修士課程と博士後期課程には共に、診療画像学コースと医用計測学コースが開設されている。診療画像学コースは画像処理による小病変検出率の向上を目標とする医用画像情報学分野と、医学的知識及び疾病による異常所見の認識能力の向上による機能的かつ有効的な検査遂行を目標とする診療画像技術学分野に分かれる。医用計測学コースは放射線計測学分野、医用粒子線学分野、放射線物性化学分野、放射線材料評価学分野の4分野に分かれ、放射線関連分野において必要となる計測技術や得られたデータの処理や解釈法を研究し、修得する。これらの教育課程により、修士課程においては、診療放射線技師の指導者として、また医療関連企業の画像処理技術者として活躍できる人材の養成を目指している。博士後期課程においては、放射線医療分野において問題意識を有する自立した研究者ならびに教育者あるいは医療現場や医療関連企業に必要とされている研究や教育における指導者の養成を目指している。

さらに修士課程には、文部科学省が推進する【がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン】に基づく「がん地域遠隔画像診断支援技術者養成コース」が2013年4月に開設され、「がん専門放射線治療技師養成コース」が2014年4月に開設される。前者はがん地域連携遠隔画像診断における標準化に対する問題点の解決、画像データの精度管理やセキュリティ対策を目指すリスクマネジメントの遂行が単独で行える技術者の養成を目指している。後者は高精度放射線治療の物理的技術的基礎を確保し、放射線治療における線量分布の最適化と評価が行えると共に、高い安全性を確保できる能力を有する技術者の養成を目指している。

#### ②研究・実習施設の充実

診療放射線学専攻の修士課程では14名の専任教員と9名の非常勤講師、1名の学内兼任講師が“講義”を担当し、15名の専任教員が“演習”を担当している。博士後期課程では13名の専任教員が“講義”および“演習”を担当している。

主要実験装置としてCT装置やMRI装置、CRシステム、治療位置決め装置、治療計画装置などを設置し、これらを学部と共用で使用している。

## VI その他

### 専任教員紹介・研究室

医療健康科学部の専任教員の研究室は、第1研究館にあります。不明な点は、第1研究館2階の「受付窓口」に問い合わせてください。

#### ●専任教員一覧（五十音順）

漢字氏名	カナ氏名
青木 清	アオキ キヨシ
飯田 幸雄	イイダ ユキオ
岡田 朋子	オカダ トモコ
奥山 康男	オクヤマ ヤスオ
金子 順一	カネコ ジュンイチ
熊坂 さつき	クマサカ サツキ
近藤 啓介	コンドウ ケイスケ
佐藤 昌憲	サトウ マサノリ
嶋田 守男	シマダ モリオ
瀬尾 育式	セオ ヤスツグ
名古 安伸	ナコ ヤスノブ
西尾 誠示	ニシオ セイジ
原田 和正	ハラダ カズマサ
保科 正夫	ホシナ マサオ
森口 央基	モリグチ ヒサモト
吉川 宏起	ヨシカワ コウキ

